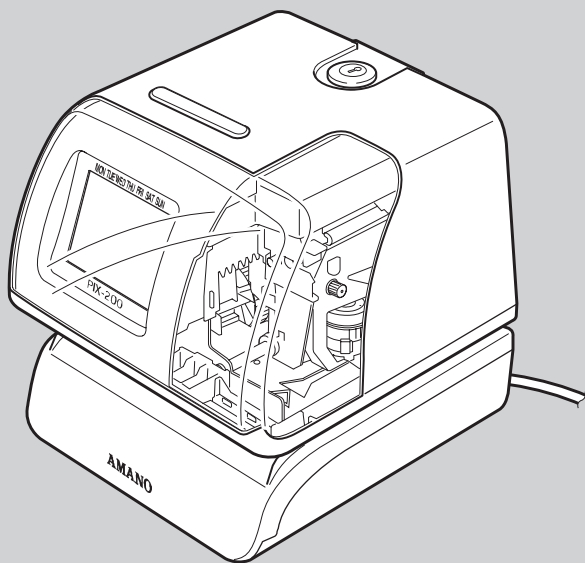


電子タイムスタンプ

PIX-200

取扱説明書



AMANO

商品概要

特長

PIX-200（以降、本機）は日付・時刻や連続した番号を、伝票や用紙に自動印字できる電子タイムスタンプです。

病院などの予約受付の管理や会社での伝票の発行や整理など、様々なシーンでご利用いただけます。

本機は安定した机の上に置かか、壁に掛けて使用してください。

■電源を入れるだけですぐに使用できます！

年月日・曜日・時刻はすべてセット済みです。

ACアダプターをコンセントに差し込むだけで、すぐに使用できます。

■任意のコメントを印字できます！

任意のコメント（ユーザーフォーマット）をカタカナ・アルファベットで最大3行まで印字できます。年・月・日・曜日・時・分・ナンバリングの組み合わせも自在に行えます。

■豊富な印字種類をご用意。用途に合わせて選べます！

年・月・日・曜日・時・分・ナンバリングを組み合わせた、定形の印字パターンを31種類から選べます。用途に合わせて使い分けできます。

■用紙を挿入するだけで印字できます！

用紙を挿入するだけで印字することができます。また、印字ボタンを押したときに印字するよう設定することもできます。

■便利なナンバリング機能付き

最大8桁までのナンバリングが可能です。開始するナンバーを設定したり、同じナンバーを繰り返して印字するよう設定することも可能です。

■リボンカセットのインク残量がひと目でわかります

ディスプレイにリボンカセットのインク残量を段階的に表示します。

残量がわかるので、新しいリボンカセットの準備を前もって行えます。

■パスワードと鍵による2重の管理ができます

不正操作や誤操作を防止するための機能として、鍵とパスワードによる管理が行えるようになりました。管理者が鍵とパスワードを管理することで、より公正な印字ができます。

■液晶ディスプレイを大きくしました

液晶ディスプレイを大きくし、現在日時や設定項目などの表示項目を見やすくしました。また、表示される情報項目を増やし、操作しやすくしました。

■内部に明るいホワイトブルーのライトを付け、印字部分を見やすくしました

幅広い年齢の方にご使用いただくことを考慮し、内部にホワイトブルーの照明を付けました。照明があることにより、手元が明るくなり、用紙を差し込んだときに印字部分がはっきりと見えるようになりました。また、印字窓（クリアケース）を広げたことにより、手元が明るく、内部まで見やすくなりました。

付属品をお確かめください

本機には以下の付属品があります。使用する前にすべての付属品があることを確認してください。

上ケース開閉キー 1組（2個）
取扱説明書（本書） 1冊

お願い

- 本機の無償製品保証サービスは、製品保証登録をして頂くことではじめて有効になります。ご購入後、インターネットの弊社の製品保証登録サイトから、ご購入機器の情報を登録ください。
- 製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

お預かりしましたお客様の個人情報は、今後弊社が取り扱いの製品・サービスについてのご紹介や、これらに関する展示会・セミナー等各種イベントのご案内に利用させていただき、お客様の許可無く、第三者に提供等いたしません。

もくじ

はじめに

安全にお使いいただくために	1
取り扱い上のお願い	4
各部の名前とはたらき	5
外部	5
内部	6
ディスプレイ	7
用紙について	8

準備

上ケースを開ける／閉める	9
緩衝材を取り出す	10
電源を入れる	10
テスト印字を行う	11

設置

設置上のお願い	12
壁にかけて使用する	13

使いかた

日常の使いかた	15
用紙端からの印字位置までの奥行きを調節する ..	16

設定

SET UP画面を表示する	17
設定項目一覧	18
時刻を合わせる	21
簡易時刻設定について	22
日付を合わせる	23

設定

印字種類を設定する	25
印字種類一覧	25
設定のしかた	26
ユーザーフォーマットを設定する	28
ユーザーフォーマットを作成する	30
ユーザーフォーマットを修正する	33
印字する文字の種類やスタイルを変更する	34
ユーザーフォーマットの行揃えを設定する	34
ユーザーフォーマットのテスト印字を行う	36
ユーザーフォーマットを削除する	37
印字方向を設定する	38
印字種類の詳細設定を行う	39
「年」の桁数を設定する	39
「月」と「日」の間にハイフンを入れるかどうかを設定する	42
「時」の形式を設定する	43
「分」の形式を設定する	44
言語を設定する	46
印字する定型コメントを設定する	47
「0」の形式を設定する	49
数字の前に「0」を印字するかどうかを設定する	50
印字する幅を設定する	51
印字のタイミングを設定する	52
ナンバリングに関する設定を行う	55
印字ナンバーを設定する	55
印字ナンバーを手動でリセットする	57
印字ナンバーの桁数を設定する	58
印字ナンバーのリセット後の初期番号を設定する	59
印字ナンバーのオートリセットを行うかどうかを設定する (ナンバリングオートリセット)	60
同じ印字ナンバーをリピートして印字する回数を設定する (ナンバリングリピート)	62
サマータイムを設定する	63
サマータイム機能について	63
設定のしかた	63
ディスプレイに表示する内容を設定する	65
パスワードを設定する	67

もくじ

時刻同期機能

機能概要	69
設置場所について	69
電波を自動で受信し、時計を合わせる.....	70
手動で電波探索を行い、時計を合わせるときは	70
時刻同期機能のON/OFFを設定する.....	71

メンテナンス

リボンカセットを交換する	73
リボンカセットの種類	73
交換のしかた	73
日常のお手入れについて	76

付録

設定項目の画面遷移	77
設定項目のお買い上げ時の設定	79
各種一覧.....	81
各言語の「月」「曜日」の印字一覧	81
各言語の登録済み定型コメント一覧	82
ユーザーフォーマット入力用文字コード一覧	83
文字の種類	84
エラーコード一覧	85
故障とお考えになる前に.....	86
専用バッテリー（別売品）の取り付け/取り外しかた.....	88
消耗品・別売品のご紹介.....	90
仕様	93
製品保証とアフターサービス.....	94

はじめに

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い」内容を示します。



警告

誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

- 「重傷」とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを意味します。
- 「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを意味します。
- 「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を意味します。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

（下記は絵表示の一例です。）



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告



禁止

製品表示の電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しない。
また、電源は直接コンセントから取り、タコ足配線をしない。
火災、感電、故障の原因となります。

はじめに

安全にお使いいただくために（つづき）

警告



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損しないこと。

重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災、感電、故障の原因となります。



分解禁止

本機の分解・改造をしない。

火災、感電の原因となります。



電源プラグ
を抜く

万一、本機から発煙、異臭、発熱などの異常を発見した場合は、直ちにACアダプターをコンセントから抜いて、弊社の支店・営業所またはアマノ・タイムレコーダーサポートセンターに連絡する。

火災、感電の原因となります。



電源プラグ
を抜く

万一、本機から異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、直ちにACアダプターをコンセントから抜いて、弊社の支店・営業所またはアマノ・タイムレコーダーサポートセンターに連絡する。

火災、感電の原因となります。



電源プラグはコンセントから定期的に抜いてコンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取る。

ほこりがたまり、火災の原因となります。

⚠️ 注意



設置場所

本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。

万一、異常が発生した場合に、電源プラグを抜くと本機は電源から遮断されます。



禁止

本取扱説明書の中には、弊社または弊社指定代理店が行う作業の説明がありますが、その作業は絶対にお客様が行わない。

感電、けがの原因となることがあります。



禁止

本機の上に水の入った容器や金属物を置かない。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になることがあります。



禁止

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるような場所やホコリの多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



禁止

本機を不安定な場所に置かない。

本機が落ちて、けがの原因になることがあります。



壁に掛けて使用する場合、本機の重量に十分耐えられるように壁材にあった固定金具を使用する。

本機が落ちて、けがの原因になることがあります。



電源プラグ
を抜く

ACアダプターを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

リボンカセットを交換するときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いて、上ケースを外してから行う。

けがや感電の原因になることがあります。



持ち運ぶときは、ACアダプターは抜く

コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。



高温注意

高温注意シールのところは触れない。

やけどの原因となることがあります。

取り扱い上のお願い

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

使用電源はAC100Vです

電源はAC100Vを使用します。これ以外の電源で使用しないでください。故障の原因になります。

同梱された専用のACアダプターを使用してください

同梱されたACアダプターは他の製品に使用しないでください。

同梱された電源コードセットを使用してください

同梱された電源コードセットは他の製品に使用しないでください。

PIX-200の背面にあるACアダプターのピンジャックを抜かないでください

バッテリー（別売品）について

- 本機にはバッテリー（別売品）を使用できます。停電時、このバッテリー（別売品）を使って本機を動作させることができます。長い間使用しなかった場合、電池の容量が少なくなっています。これは電池の特性によるもので、ACアダプターをコンセントに接続して使用するうちに十分に充電されます。
- バッテリー（別売品）はリサイクル可能なニッケル水素電池を使用しています。使用済みのバッテリーは貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで、当社支店・営業所にお問い合わせください。



このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。

Ni-MH

- ショート防止のため、バッテリー（別売品）のケーブルを切ったり、コネクタを外さないでください。
- 分解はしないでください。
- 乾電池など、他の種類の電池と混ぜないで使用しないでください。

停電時の対応

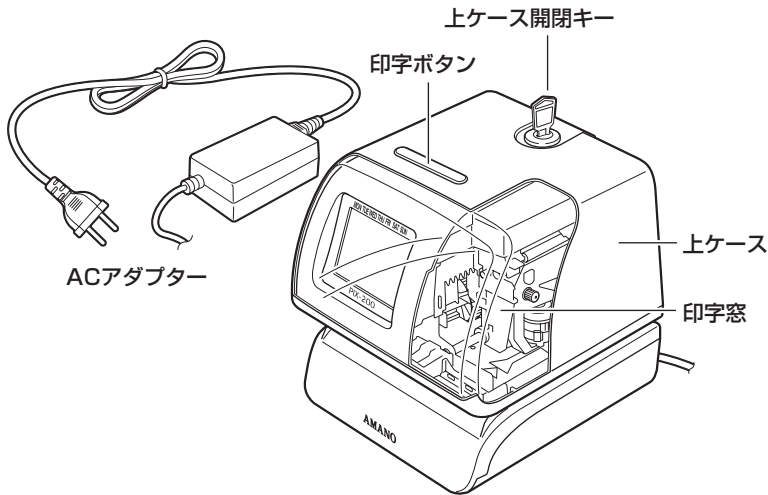
停電時、バッテリー（別売品）がフル充電の場合は、次の条件で動作します。

- ・ 72時間
- ・ 400打刻

また、SET UP画面での設定内容や時計データは3年間保持します。

各部の名前とはたらき

外部



上ケース開閉キー

上ケースを開けるときに使用します。上ケースの開けかた／閉めかたについては9ページをお読みください。

印字ボタン

『印字のタイミングを設定する（52ページ）』を「button」または「Au btN」

に設定している場合、この印字ボタンを押すと、印字できます。

印字窓

印字位置を調整するときなど、この印字窓から印字位置を確認することができます。印字はアクリル製ガイドシートのオレンジ色の枠内に行われます。

<次ページへ続く>

はじめに

各部の名前とはたらき (つづき)

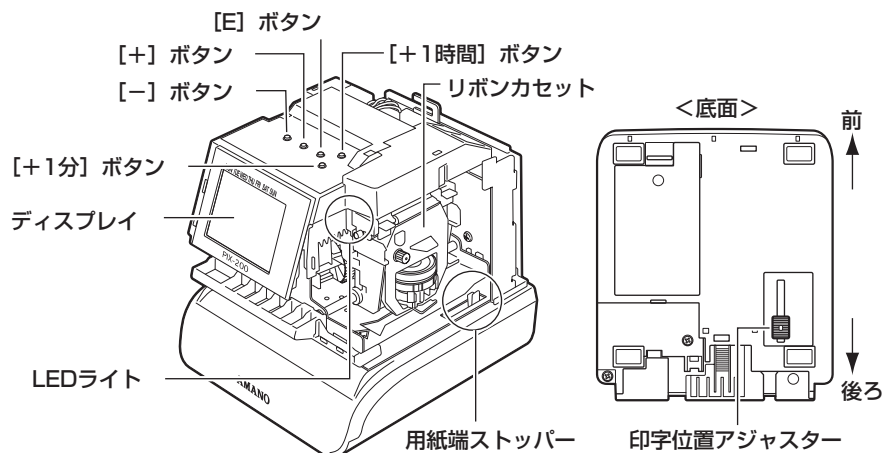
上ケース

上ケース開閉キーを使って、開けたり閉めたりできます。設定を行うときは上ケースを開け、内部のボタンを使って操作します。印字するときは、上ケースをかぶせてから行ってください。

ACアダプター

ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込むと本機に電源が入ります。

内部



[E] ボタン

SET UP画面での設定項目を決定したり、設定内容を確定するときに使用します。また、[E] ボタンと [+] ボタンを同時に2秒以上押すと、SET UP画面のトップ画面が表示されます。

[+] ボタン

SET UP画面での設定項目の選択や設定内容を切り替えるとき、また [▲] を右に移動するときに使用します。

[-] ボタン

SET UP画面での設定項目の選択や設定

内容を切り替えるとき、また [▲] を左に移動するときに使用します。

ディスプレイ

ディスプレイについては7ページをお読みください。

LEDライト

印字場所を照らします。

用紙端ストッパー

用紙端までの奥行きを決めます。底面の印字位置アジャスターを移動し、調節します (※16ページ)。

リボンカセット

インクリボンカセットです。
インクの残量が0%になると、ディスプレイの「INK」と「E」が点滅し始めます。点滅し始めたら、新しいリボンカセットに交換してください。交換のしかたは73ページをお読みください。

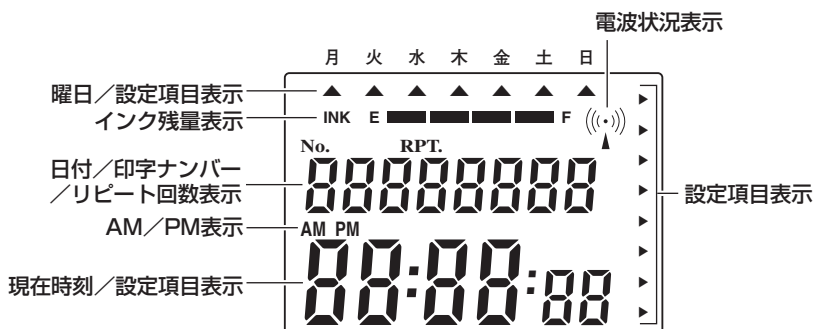
[+1分] ボタン

ディスプレイの時刻の「分」を1分ずつ進めます (☞22ページ)。

[+1時間] ボタン

ディスプレイの時刻の「時」を1時間ずつ進めます (☞22ページ)。

ディスプレイ



曜日/設定項目表示

通常表示の場合は、曜日に [▲] が表示されます。SET UP画面表示の場合は、設定している項目に [▲] が表示されません。

インク残量表示

リボンカセットのインク残量を左端の「E」(残量なし) から右端の「F」(フル) まで5段階で表示します。

本機は印字回数に基づいてリボンカセットのインク残量を計算し表示します。インクの残量が減っていくと、バーの数が減っていきます。

残量が0%になると (バーが表示されなくなる)、 「INK」と「E」が点滅し、リボンカセットを交換するまで、点滅し続けます。

リボンカセットを交換し、残量表示をリセットすると、フル表示になります。リボンカセットの交換のしかた、残量表示のリセットのしかたは75ページをお読みください。

電波状況表示

電波時計の時刻信号の受信状況を示します。電波の線の数が多いほど、電波状況が良いことを示しています。また、以下の状況を示します。

- ☎ : 電波探索中
- ▲ : 電波受信中
- ☎ : 時刻信号との同期完了
- △ : 時刻信号との同期失敗

<次ページへ続く>

はじめに

各部の名前とはたらき（つづき）

日付／印字ナンバー／リピート回数表示

日付／印字ナンバー／印字ナンバーのリピート回数を表示します。

どの内容を表示するかは『ディスプレイに表示する内容を設定する（☞65ページ）』で設定します。

AM／PM表示

「時」の表示形式を12時間表示に設定している場合（☞66ページ）、AM／PMを表示します。

現在時刻・設定項目表示

現在時刻を表示します。

SET UP画面表示中は、設定項目を表示します。

用紙について

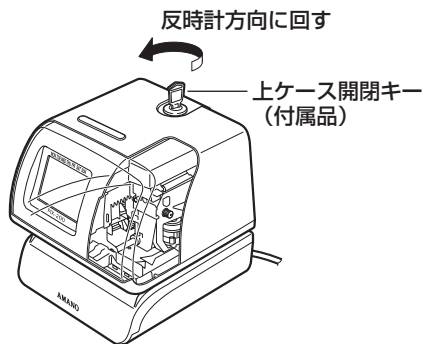
本機で印字できる紙厚、複写可能枚数については、以下のようになっています。

- | | |
|--------|----------------|
| 紙厚 | ：最大3mm |
| 複写可能枚数 | ：感圧紙5枚、カーボン紙6枚 |

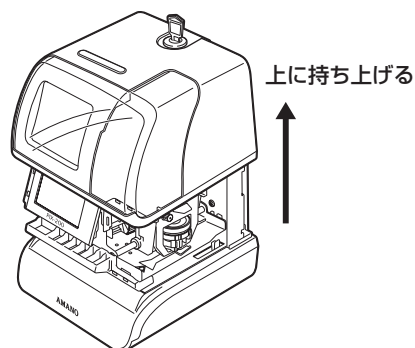
準備

上ケースを開ける／閉める

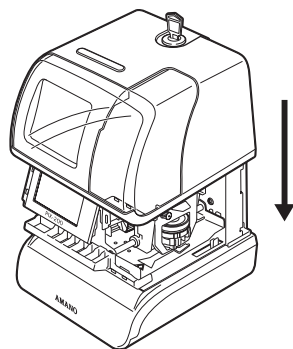
- 1** 上ケース開閉キー（付属品）を上ケースの鍵穴に差し込み、反時計方向に回します。



- 2** 上ケースを持ち上げて取り外します。



- 3** 上ケースをかぶせるときは、上ケース開閉キーを反時計方向に回したまま、本体にはめ込みます。はめ込んだら、キーを時計方向に回します。



重要

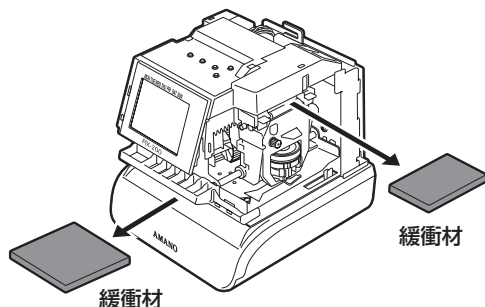
- 上ケースをかぶせるとき、指を挟まないように注意してください。

緩衝材を取り出す

1 上ケースを取り外します (P.9ページ)。

2 リボンカセットの上と用紙挿入スペースにある2つの緩衝材を取り出します。

3 緩衝材を取り出したら、上ケースを元どおりにかぶせます (P.9ページ)。



電源を入れる

警告



禁止

製品表示の電源電圧 (AC100V) 以外の電圧で使用しない
また、電源は直接コンセントから取り、タコ足配線をしない



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

火災・感電のおそれがあります。



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、傷つけたり、破損しない

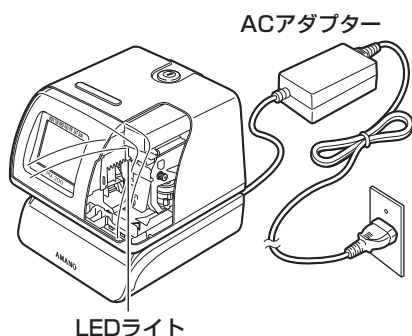
重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災、感電、故障の原因になります。

1 ACアダプターをコンセントに差し込みます。

→電源が入るとディスプレイに日時が表示され、LEDライトが点灯します。

重要

- 電源はAC100Vを使用します。これ以外の電源で使用しないでください。故障の原因になります。



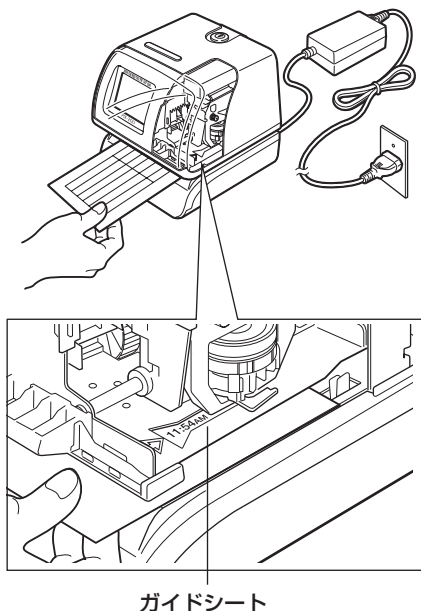
準備

テスト印字を行う

ACアダプターがコンセントに差し込まれ、電源が入っていることを確認したら、テスト印字を行います。

1 印字窓から印字位置を確認しながら、用紙を図のように挿入します。

→アクリル製ガイドシートのオレンジ色の枠内に印字されます。



設置のしかた

設置上のお願い

本機は安定した机上に置くか、壁に掛けて使用できます。

👉重要

- 本機を設置するときは、必ず、ACアダプターをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠警告 ⚠注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

以下の場所には設置しないでください

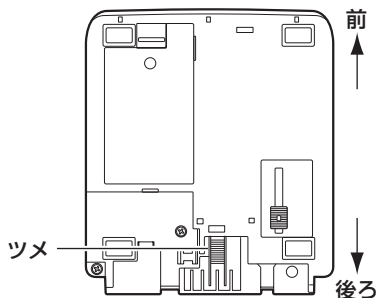
- 直射日光が当たる場所や熱源に近い所
- 屋外や雨水などがかかる場所

壁に掛けて使用する場合は以下の事項をお守りください

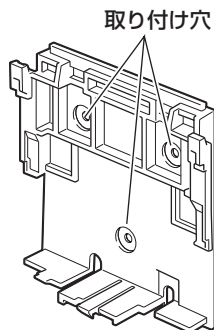
- 壁に掛けて使用したい場合は、必ず弊社の支店・営業所またはアマノ・タイムレコーダーサポートセンターにご連絡ください。
壁面への設置は、弊社の支店・営業所の担当者が行います。お客様自身で行わないでください。
- 本機は10mm以上の厚みのある木製の壁に取り付けてください。
- 取り付け用のねじは付属されていません。壁面の強度・材質に合った取り付けねじを用意してください。また、コンクリート壁など特殊な壁面に設置する場合は、専用のねじを使用してください。
- 取付ねじは取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。ねじを締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- SETUP画面で設定を行ったり、リボンカセットを交換するときは、必ず平らな机上に置いて行ってください。

壁にかけて使用する

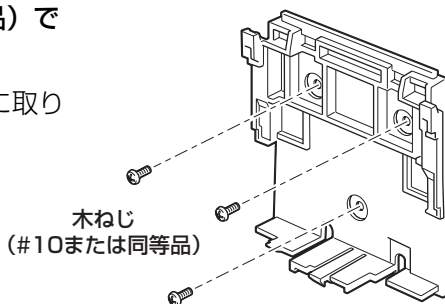
- 1** 上ケースを取り外し（※9ページ）、底面のツメを押しながら、背面板を持ち上げ、取り外します。



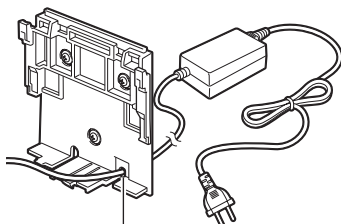
- 2** 背面板を取り付けたい壁面にあてまっすぐ固定し、背面板の取付穴（3か所）の位置を壁面にマークします。



- 3** 木ねじ（#10または同等品）で背面板を取り付けます。
10mm以上厚みのある壁に取り付けてください。



- 4** ACアダプターの電源コードを背面板の下部にある穴に通します。

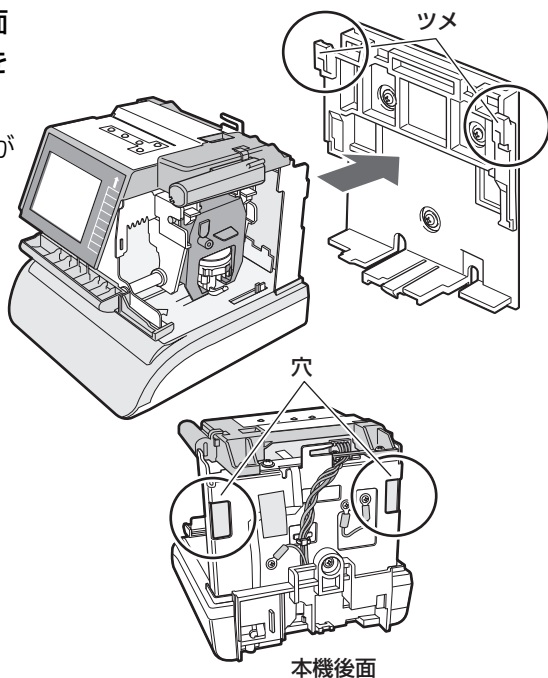


穴 <次ページへ続く>

設置のしかた

- 5** 本機後面の穴（2か所）と背面板上部にあるツメ（2か所）を合わせます。

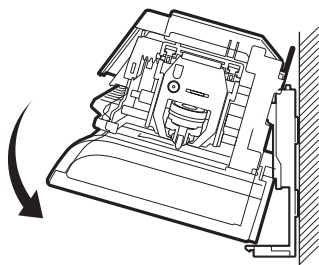
本機後面の穴に背面板のツメが確実に挿入されていることを確認してください。



- 6** 本機を図のように垂直に戻しながら、ゆっくりと押し込みます。正しくはまると、カチッと音がします。

👍重要

- 電源コードを挟まないように注意してください。



- 7** 上ケースを取り付けます（☞9ページ）。
上ケースを取り付けたら、上ケース開閉キーを回し、ロックしてください。

使いかた

日常の使いかた

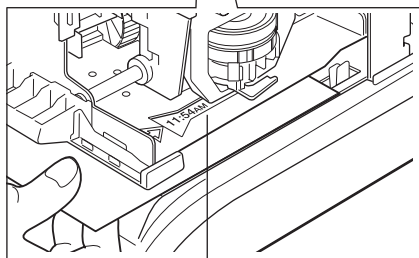
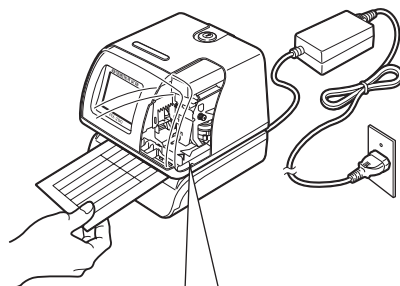
- 1 ACアダプターをコンセントに差し込み、電源が入ったことを確認します。
→電源が入るとディスプレイに日時が表示され、LEDライトが点灯します。

- 2 印字窓から印字位置を確認しながら、用紙を挿入します。

右の図の亚克力製のガイドシートの枠内に印字されます。印字したい場所がガイドシートの枠内に入るように、用紙を左右に動かして印字位置を調節します。

メモ

- 挿入した用紙に対して、印字する方向（用紙左側／用紙右側）の設定は『印字方向を設定する』（[P.38](#)ページ）をお読みください。



ガイドシート

重要

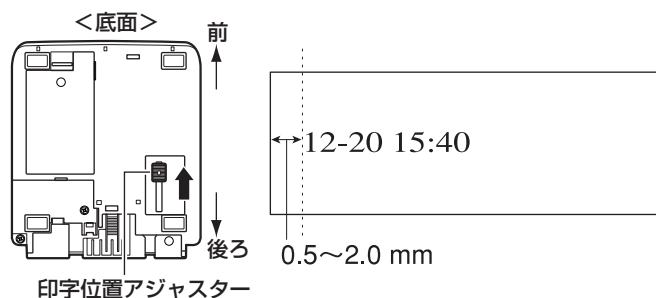
- 印字中は無理に用紙を引き抜かないでください。ドットプリンターのピンが折れて、インクリボンが破れてしまうことがあり、故障につながります。

用紙端からの印字位置までの奥行きを調節する

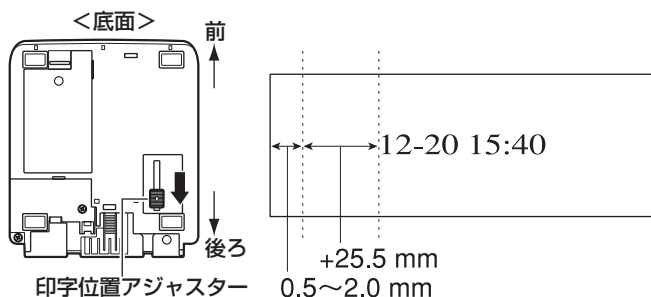
用紙端からの印字位置（奥行き）の調節は、底面の印字位置アジャスター（スライドレバー）で行えます。

印字位置アジャスターはラッチ機能を備えており、1.5mmずつ17段階（合計25.5mm）移動させることができます。これにより、用紙端のストッパーが前後して、用紙端から印字位置までの奥行きを設定できます。

印字位置アジャスターを本機前面側いっぱい動かすと、用紙端から印字位置までの最短距離になり、用紙端から0.5 mm～2.0 mmに設定されます。



また、印字位置アジャスターを本機後面側いっぱい動かすと、用紙端から印字位置までの最長距離になり、用紙端から最短距離+25.5 mmの長さに設定されます。



設定のしかた

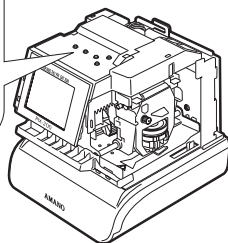
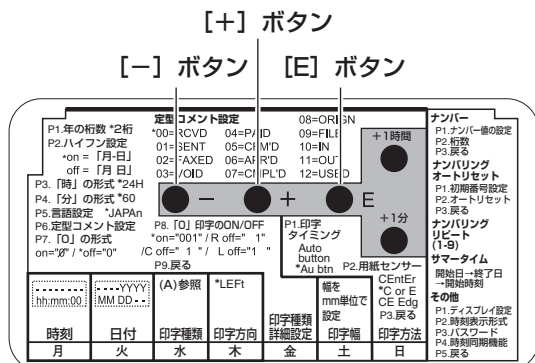
SET UP画面を表示する

本機の各種設定はディスプレイにSET UP画面を表示して行います。

各種設定のお買い上げ時の設定内容については、79ページをお読みください。

SET UP画面は以下の操作で表示します。

SET UP画面の操作は、本機内部にある [-] ボタン、[+] ボタン、[E] ボタンを使って行います。



設定

1 上ケースを取り外します (79ページ)。

2 [+] ボタンと [E] ボタンを同時に2秒以上押し続けます。

→SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) が表示されます。



3 上ケースを取り付けると、通常の画面に戻ります。



上ケースを取り付けたあとは、鍵穴から鍵を抜いてください。

設定項目一覧

SET UP画面で設定できる項目は以下のとおりです。

設定項目	概要	参照ページ
時刻を合わせる	ディスプレイに表示されている時刻が正しくない場合、時刻を合わせます。	21
日付を合わせる	ディスプレイに表示されている日付が正しくない場合、日付を合わせます。	23
印字種類を設定する (Pr ordEr画面)	日付や時刻の印字する順序など、実際に印字する形式を設定します。31種類の中から印字したい形式を選択します。	25
ユーザーフォーマットを設定する	以下のユーザーフォーマットの設定を行います。	28～37
ユーザーフォーマットを作成する (P1 inPut CodE画面)	ユーザーフォーマットを作成します。ユーザーフォーマットの修正や文字の種類、スタイルを変更する場合もこのP1 inPut CodE画面から文字コードの入力画面を表示して行います。	30
ユーザーフォーマットの行揃えを設定する (P2 Print LayoUt画面)	ユーザーフォーマットの行揃えを右揃え／中央揃え／左揃えのいずれかから選択します。	34
ユーザーフォーマットのテスト印字を行う (P3 tESt Print画面)	入力したユーザーフォーマットをテスト印字します。	36
ユーザーフォーマットを削除する (P1 inPut CodE画面)	入力したユーザーフォーマットを削除します。P1 inPut CodE画面からPrn LinE画面を表示して行います。	37
印字方向を設定する (Prn PoSn画面)	挿入した用紙に対して、印字する文字の向きを用紙左側または用紙右側のどちらかに設定します。	38
印字種類の詳細設定を行う	以下の印字種類に関する設定を行います。	39～50
「年」の桁数を設定する (P1 Print yEA画面)	「年」の桁数を2桁／4桁／和暦いずれかから選択します。	39

設定項目	概要	参照ページ
「月」と「日」の間に「- (ハイフン)」を入れるかどうかを設定する (P2 Print HyPhEn画面)	「月」と「日」の間に「- (ハイフン)」を入れて印字するかどうかを設定します。	42
「時」の形式を設定する (P3 Print Hour画面)	「時」の印字を12時間印字／24時間印字のどちらかに設定します。	43
「分」の形式を設定する (P4 Print minUt画面)	「分」の形式を60進法／100進法A／100進法B／10進法のいずれかから選択します。	44
言語を設定する (P5 Print LAngU画面)	印字される曜日や月、定型コメントなどの言語を設定します。	46
印字する定型コメントを設定する (P6 Print ConEnt画面)	印字種類で印字コード「14」～「20」に設定した場合の印字される定型コメントを設定します。	47
「0」の形式を設定する (P7 SLASH ZErO画面)	数字「0」に「/ (スラッシュ)」を付けて印字するかどうかを設定します。	49
数字の前に「0」を印字するかどうかを設定する (P8 LEAd ZErO画面)	数字の前に「0」を印字するかどうかを設定します。	50
印字する幅を設定する (Pr LEnth画面)	印字する幅をミリメートル単位で設定します。	51
印字のタイミングを設定する (P1 Print trigEr画面)	印字のタイミングを用紙を挿入すると自動的に印字するか、印字ボタンを押したときに印字するかのどちらかに設定します。	52
用紙検知センサーを設定する (P2 PAPER dEtECT画面)	2つの用紙検知センサーをどのように使うかを設定します。	54
ナンバリングに関する設定を行う	ナンバリングに関する以下の設定を行います。	55～62
印字ナンバーを設定する (P1 Print nubEr画面)	次の印字操作をしたときに印字する印字ナンバーを設定します。印字ナンバーは印字するたびに1つつ増えていきます。通常は設定不要です。	55

設定のしかた

設定項目一覧（つづき）

設定項目	概要	参照ページ
印字ナンバーを手動でリセットする (P1 Print nubEr画面)	印字ナンバーを手動でリセットし、あらかじめ設定してある初期番号に戻します。	57
印字ナンバーの桁数を設定する (P2 nubEr digit画面)	印字ナンバーの桁数を設定します。桁数は1桁～8桁まで設定できます。	58
印字ナンバーのリセット後の初期番号を設定する (P1 nubEr initiAL画面)	印字ナンバーをリセットする際の初期番号を設定します。	59
印字ナンバーのオートリセットを行うかどうかを設定する (ナンバリングオートリセット) (P2 Auto rESet画面)	印字ナンバーを一日一回自動的にリセットするかどうかを設定します。	60
同じ印字ナンバーをリピートして印字する回数を設定する (ナンバリングリピート) (rEPEAt画面)	同じ番号を複数の用紙に繰り返し印字したい場合などに、同じ番号を印字する回数を設定します。	62
サマータイムを設定する (bEgn画面、End画面、Hour dSt画面)	サマータイム設定します。 日本国内でサマータイムが導入されたときに設定する必要があります。	63
ディスプレイに表示する内容を設定する (P1 LCd diSPLy画面) (P2 Hour diSPLy画面)	現在時刻の上に表示する内容と現在時刻の表示形式（12時間表示／24時間表示）を設定します。	65
パスワードを設定する (P3 PASS word画面)	パスワードを設定して、SET UP画面の表示（☞17ページ）や簡易時刻設定（☞22ページ）を行えるユーザーを制限します。	67

時刻を合わせる

お買い上げ時、あらかじめ時刻は設定してありますが、表示が正しくない場合、以下の操作を行って時刻を合わせてください。

また、時刻設定は、SET UP画面を使わず簡単な操作で行うこともできます。『簡易時刻設定について』(P.22ページ)をお読みください。

- 1** SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (P.17ページ)。



- 「分」が点滅し、変更できる状態になります。



- 2** [E] ボタンを押します。
→ 「時」が点滅し、変更できる状態になります。



- 4** [+] ボタンまたは [-] ボタンを押して、分を設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。



- 3** [+] ボタンまたは [-] ボタンを押して、時を設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。



- 時刻の設定が完了し、現在時刻が表示されます。SET UP画面のトップ画面に戻るには、再度 [E] ボタンを押します。

設定のしかた

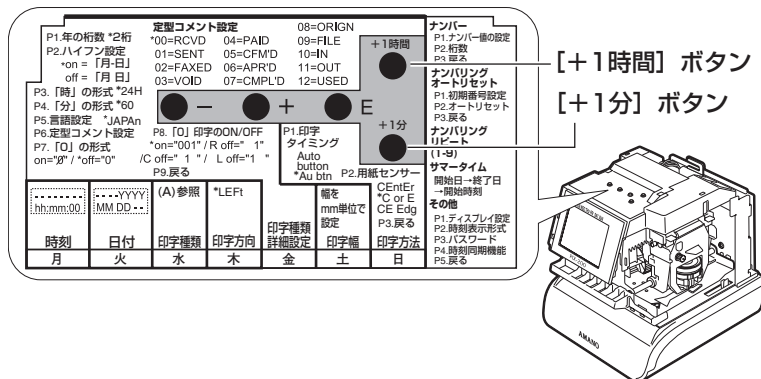
時刻を合わせる (つづき)

メモ

- 「秒」は [E] ボタンを押した時点で「00」から進み始めます。ただし、「分」を変更しなかった場合は、設定されている秒数でそのまま進みます。
- 設定を変更しない場合は、各手順で [E] ボタンを押してください。

簡易時刻設定について

時刻設定は、本機内部にある [+1時間] ボタン、[+1分] ボタンを使って簡単に行うことができます。



- 「時」の表示を変更する： [+1時間] ボタンを押します。
「分」の表示を変更する： [+1分] ボタンを押します。

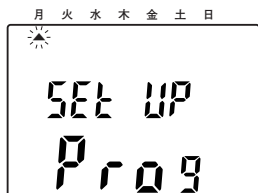
メモ

- 「秒」は設定されている秒数でそのまま進みます。「00」からは開始されません。

日付を合わせる

お買い上げ時、あらかじめ日付は設定してありますが、表示が正しくない場合、以下の操作を行って日付を合わせてください。

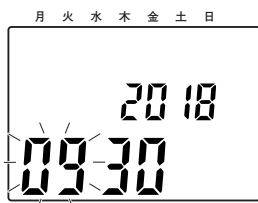
- 1** SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



- 2** [+] ボタンを押して、「▲」を「火」に移動させ、[E] ボタンを押します。



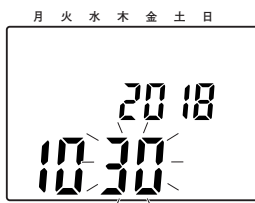
- 「月」が点滅し、変更できる状態になります。



- 3** [+] ボタンまたは [-] ボタンを押して、「月」を設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。



- 「日」が点滅し、変更できる状態になります。



- 4** [+] ボタンまたは [-] ボタンを押して、「日」を設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。

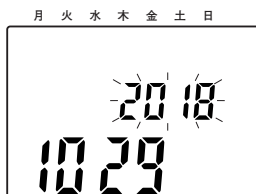


<次ページへ続く>

設定のしかた


日付を合わせる（つづき）

→「年」が点滅し、変更できる状態になります。



- 5** [+] ボタンまたは [-] ボタンを押して、「年」を設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。



→日付の設定が完了し、SET UP画面のトップ画面（ 17ページ）に戻ります。

メモ

- 設定を変更しない場合は、各手順で [+] ボタン、[-] ボタンを押さずに、[E] ボタンを押してください。
-

印字種類を設定する

本機ではあらかじめ31の印字種類が登録されています。
ここでは、その31の印字種類の内容と設定のしかたについて説明します。

印字種類一覧

凡例：Y=年、M=月、D=日、W=曜日、h=時、m=分、s=秒、C=定型コメント、
N=印字ナンバー

コード	印字種類	印字サンプル (印字の幅35mm)
1	Y/M/D hms	'06/08/22 12:48 17s
2	YMD hms	'06 08-22 12:48 34s
3	YMD hm	'06 08-22 12:50
4	MDY hm	08-22'06 12:50
5	DMY hm	22-08'06 12:50
6	YMD	'06 08-22
7	MD hm	08-22 12:51
8	DM hm	22-08 12:51
9	MD	08-22
10	W D hm	* 22 12:51
11	W hm	* 12:52
12	D hm	22 12:52
13	hm	12:52
14	C YMD	RCVD '06 08-22
15	C MDY	RCVD 08-22 '06
16	C DMY	RCVD 22-08 '06
17	C D hm	RCVD 22 12:53
18	YMD C	'06 08-22 RCVD
19	MDY C	08-22 '06 RCVD
20	DMY C	22-08 '06 RCVD
21*	N YMD hms	0001 '06 08-22 12:54 56s

※コード「21」の場合、最大印字幅35mmを超えるため、印字ナンバー桁数は自動的に4桁になります。

設定のしかた

印字種類を設定する (つづき)

コード	印字種類	印字サンプル
22	N YMD hm	000026'0806-1310:59
23	N YMD	000027'08 06-13
24	N MDY	000028 06-13'08
25	N DMY	000029 13-06'08
26	N MD hm	000030 06-1310:59
27	N D hm	000031 1311:00
28	YMD N	'08 06-13 000032
29	MDY N	06-13'08 000033
30	DMY N	13-06'08 000034
31	N	000035
32	設定したユーザーフォーマット (3行まで) を印字できます。 ユーザーフォーマットの作成については、『ユーザーフォーマットを設定する』 (☞28ページ) をお読みください。	

設定のしかた

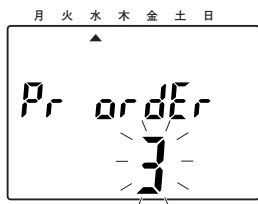
- 1 SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



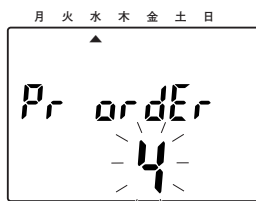
2 [+] ボタンを2回押して、「▲」を「水」に移動させ、「E」ボタンを押します。



→印字種類を選択する画面 (Pr ordEr画面) になり、印字種類のコードが点滅表示します。



3 [+] ボタンまたは [-] ボタンを押して、印字種類 (コード「1」～「32」) を選択します。選択したら、「E」ボタンを押します。



→印字種類の設定が完了し、SET UP画面のトップ画面 (☞17ページ) に戻ります。

メモ

- コード「32」(ユーザーフォーマットの印字) に設定した場合、手順3以降で、印字するユーザーフォーマットの内容を入力する必要があります。詳しくは、『ユーザーフォーマットを作成する』(☞28ページ) をお読みください。
- コード「14」～「20」に設定した場合、印字種類「C」にはあらかじめ設定された定型コメントが印字されます。印字する定型コメントの設定のしかたは『印字する定型コメントを設定する』(☞47ページ) をお読みください。
- 印字種類について以下の詳細設定を行えます。詳しくは、それぞれの該当ページをお読みください。
 - ・「年」の桁数 (☞39ページ)
 - ・「月」と「日」の間のハイフン設定 (☞42ページ)
 - ・「時」と「分」の形式 (☞43、44ページ)
 - ・言語の種類 (☞46ページ)
 - ・印字する定型コメントの設定 (☞47ページ)
 - ・「0」の形式 (☞49ページ)
 - ・数字の前に「0」を付けるかどうかの設定 (☞50ページ)

ユーザーフォーマットを設定する

印字種類をコード「32」に設定すると(☞26ページ)、任意に作成したコメント(ユーザーフォーマット)を印字することができます。

ユーザーフォーマットは最大3行まで入力でき、印字できる長さは1行あたり35 mmです。

また、入力できる文字は、以下の「ユーザーフォーマット入力用文字コード一覧」に記載されている文字になります。

ユーザーフォーマット入力用文字コード一覧

	O	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	En	(年)	SP	0	@	P	`	p	l	受	/		タ	ミ	/	
1	dL	(月)	!	1	A	Q	a	q	ll	領	。	ア	チ	ム	/	1ドット SP
2	in	(日)	"	2	B	R	b	r	lll	収	「	イ	ツ	メ	/	2ドット SP
3	/	(時)	#	3	C	S	c	s	v	検	」	ウ	テ	モ	/	3ドット SP
4	/	(分)	\$	4	D	T	d	t	x	付	,	エ	ト	ヤ	/	4ドット SP
5	/	(秒)	/	5	E	U	e	u	-	年	.	オ	ナ	ユ	/	5ドット SP
6	/	(曜日)	&	6	F	V	f	v	'	月	ヲ	カ	ニ	ヨ	/	6ドット SP
7	/	(週ナンバー)	'	7	G	W	g	w	"	日	ア	キ	ヌ	ラ	/	7ドット SP
8	/	(ユリウス日)	(8	H	X	h	x	€	平	ィ	ク	ネ	リ	/	8ドット SP
9	/	(印字ナンバー))	9	I	Y	i	y	¥	/	ウ	ケ	ノ	ル	/	9ドット SP
A	/	(リピート回数)	*	:	J	Z	j	z	/	/	エ	コ	ハ	レ	/	J
B	/	(定型コメント)	+	:	K	[k	{	/	/	オ	サ	ヒ	ロ	/	Jn
C	/	(AM/PM)	,	/	L	\	l		/	/	ヤ	シ	フ	ワ	/	L
D	/	/	-	/	M]	m	}	/	/	ユ	ス	ヘ	ン	/	LL
E	/	/	.	/	N	^	n	~	/	/	ヨ	セ	ホ	°	/	Ln
F	/	/	/	/	O	_	o	/	/	/	ッ	ソ	マ	°	/	Un

- En : 終端
- dL : 文字の削除 (☞33ページ)
- in : 文字の挿入 (☞33ページ)
- SP : スペース入力
- J : 全角文字開始 (☞34ページ)
- Jn : 全角文字終了 (☞34ページ)
- L : 強調文字開始 (☞34ページ)
- LL : 倍角文字開始 (☞34ページ)
- Ln : 強調文字、倍角文字終了 (☞34ページ)
- Un : 空白文字の解除 (☞34ページ)

メモ

- で囲まれている文字(空白文字)は、半角文字や全角文字よりもドット数(横幅)が少なく印字されます。

文字コードの入力のしかた

文字の入力は2桁の数字（コード）の組み合わせで行います。表の一番上に記載されたタイトル行の英数字がコードの1桁目になり、一番左に記載されたタイトル行の英数字がコードの2桁目になります。例えば、「A」を入力したい場合は、文字コードは「41」になります。
例：「年」「月」「日」「スペース」「時」「:」「分」「AM/PM」「スペース」「A」「M」「A」「N」「O」というユーザーフォーマットを作成したい場合、文字コードは以下のようになります。

10、11、12、20、13、3A、14、1C、20、41、4D、41、4E、4F

メモ

- 「年」「月」「日」「時」「分」や「O」の形式については、以下の詳細設定で設定されている内容に従って印字されます。詳しくは、それぞれの該当ページをお読みください。
 - ・ 「年」の桁数 (☞39ページ)
 - ・ 「月」と「日」の間のハイフン設定 (☞42ページ)
 - ・ 「時」と「分」の形式 (☞43、44ページ)
 - ・ 「O」の形式 (☞49ページ)
 - ・ 数字の前に「O」を付けるかどうかの設定 (☞50ページ)

文字の種類について

ユーザーフォーマットは文字を太字にして強調したり、半角文字や全角文字に設定したりなど、文字の種類を変更することができます。

文字はドット（●）で構成されており、文字の種類によってドット数が異なります。

1行に入力できるドット数（横幅）は最大148ドットです。

ここでは、入力できる文字の種類とそのドット数（横幅）について記載します。

文字の種類の変更のしかたについては、『印字する文字の種類やスタイルを変更する』(☞34ページ)をお読みください。

文字の種類	文字のスタイル	ドット数	文字コード
半角	通常文字	7	10~89、A1~A4 (空白文字、秒、AM/PMを除く)
	強調文字	8	
	倍角文字	13	
全角	通常文字	9	
	強調文字	10	
	倍角文字	17	

設定のしかた

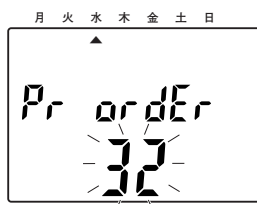
ユーザーフォーマットを設定する (つづき)

文字の種類	文字のスタイル	ドット数	文字コード
カタカナ	通常文字	9	A6~DD
	強調文字	10	
	倍角文字	17	
空白文字	通常文字	5	
	強調文字	6	
	倍角文字	9	
S (秒)	半角	7	15
AM/PM	固定	13	1C
漢字	固定	10	90~98

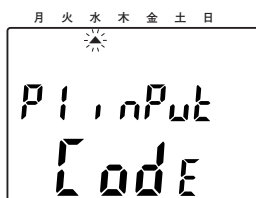
ユーザーフォーマットを作成する

ユーザーフォーマットは以下の手順で作成します。

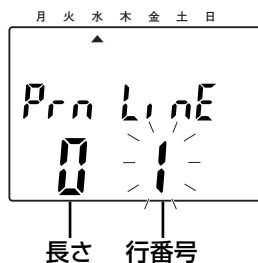
- 1 印字種類のコードで「32」を選択し、[E] ボタンを押します。
(☞ 26ページ~27ページ)



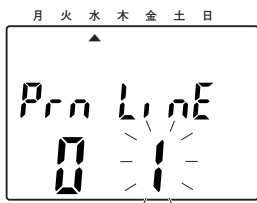
→文字コードを入力する画面
(P1 inPut CodE画面) が表示されます。



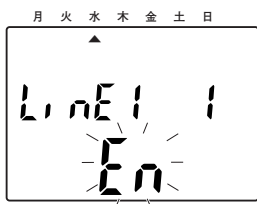
- 2 [E] ボタンを押します。
→入力する行の選択と入力されたユーザーフォーマットの長さを表示する画面 (Prn LinE画面) が表示されます。画面左の数字が1行目のユーザーフォーマットの長さ (ミリメートル単位) です。何も入力していない場合は「0」が表示されます。画面右の数字は入力する行番号です。



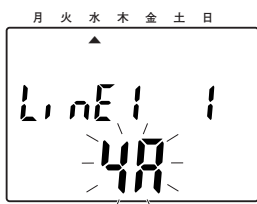
3 画面右の数字「1」が点滅したことを確認して、[E] ボタンを押します。



→1行目の文字コードを入力できる画面が表示されます。「LinE 1」が表示され、「En」が点滅表示します。「LinE 1」は「1行目の最初の1文字」を意味します。



4 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、入力したい文字の文字コードを入力します。

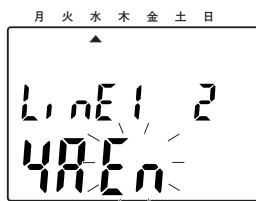


「4A」は「J」の文字コードです。

メモ

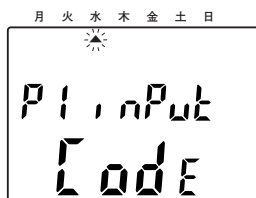
- 入力できる文字コードや文字コードの入力のしかたについては、『ユーザーフォーマット入力用文字コード一覧』（☞28ページ）、『文字コードの入力のしかた』（☞29ページ）をお読みください。
- ユーザーフォーマットはできるだけ全角文字を使用してください。全角文字を使用したほうが鮮明に印字されます。文字の種類については、『印字する文字の種類やスタイルを変更する』（☞34ページ）をお読みください。

5 文字コードを選択したら、[E] ボタンを押して入力した文字コードを確定させます。手順4と手順5を繰り返して、1文字ずつ文字コードを入力していきます。



6 1行目に入力したい文字の文字コードをすべて入力したら、[E] ボタンを押します。

→P1 inPut CodE画面に戻ります。

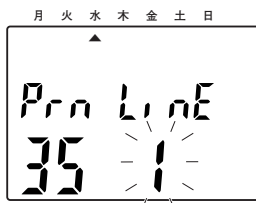


設定のしかた

ユーザーフォーマットを設定する（つづき）

7 2行目を入力する場合、まずは [E] ボタンを押します。

→手順2の1行目のユーザーフォーマットの長さを表示する画面が表示されます。



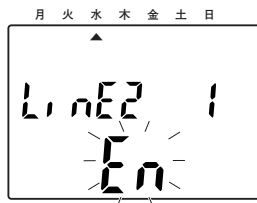
メモ

- 2行目を入力しない場合は、上ケースを取り付けます。

8 画面右の数字「1」が点滅したことを確認して、[+] ボタンを押して「2」にします。「2」が点滅したら、[E] ボタンを押します。



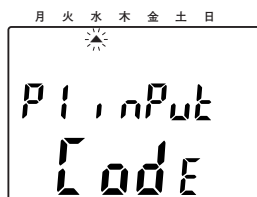
→2行目の文字コードを入力できる画面が表示されます。「LinE2 1」は「2行目の最初の1文字」を意味します。



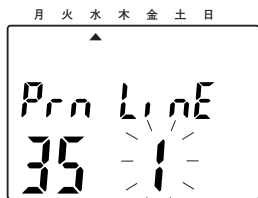
9 手順4～手順5を行い、2行目を入力します。3行目を入力する場合も同様の手順で操作します。

10 入力を終わたら [E] ボタンを押します。

→P1 inPut CodE画面が表示されます。

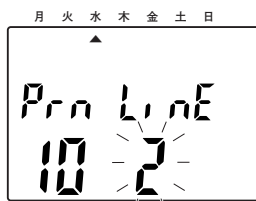


- 11** 入力したユーザーフォーマットの長さを確認したい場合は、[E] ボタンを押して、Prn LinE画面を表示します。



→印字の幅がミリメートル単位で画面左下に表示されます。

- 12** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、ユーザーフォーマットの長さを確認したい行を選択し、画面左下の数字を確認します。



👉重要

- 行の長さが35mmを超えている場合、上ケースを戻したときに画面に「Error 05」と表示されます (☞85ページ)。

ユーザーフォーマットを修正する

入力したユーザーフォーマットの文字の挿入、削除、変更は、該当する文字コードを入力して行います。

文字の挿入

文字を挿入したい個所の1つ後ろの文字コードが点滅している状態で「in (文字挿入の文字コード)」を入力し、挿入したい文字の文字コードを入力します。

(例)「ABCD (41、42、43、44)」の「A」と「B」の間に「F」を挿入したい場合「42 (Bの文字コード)」が点滅されている状態で「in (文字挿入の文字コード)」が表示されるまで [+] ボタンまたは [-] ボタンを押し続け、[E] ボタンで確定した後に「46 (Fの文字コード)」を入力します。

文字の削除

削除したい文字の文字コードが点滅している状態で「dL (文字削除の文字コード)」を入力すると、削除されます。

(例)「ABCD (41、42、43、44)」の「B」を削除したい場合「42」が点滅されている状態で「dL (文字削除の文字コード)」が表示されるまで [+] ボタンまたは [-] ボタンを押し続け、[E] ボタンで確定すると削除されます。

文字の変更

変更したい文字の文字コードが点滅している状態で新しい文字の文字コードを入力します。

(例)「ABCD (41、42、43、44)」の「B」を「F」に変更したい場合「42」が点滅されている状態で「46 (Fの文字コード)」を入力します。

設定のしかた

ユーザーフォーマットを設定する（つづき）

印字する文字の種類やスタイルを変更する

入力したユーザーフォーマットの文字を太字にして強調したり、半角文字や全角文字に設定したりします。文字の種類やスタイルの変更は、「in（文字挿入の文字コード）」を入力し、該当する文字コードを入力します。

- 全角文字を開始 : 全角文字にしたい文字列の前に「J」を入力します。
- 全角文字を終了 : 全角文字列の最後に「Jn」を入力します。
- 強調文字を開始 : 強調文字にしたい文字列の前に「L」を入力します。
- 倍角文字の開始 : 倍角文字にしたい文字列の前に「LL」を入力します。
- 強調／倍角文字を終了 : 強調文字または倍角文字列の最後に「Ln」を入力します。
- 空白文字の解除 : 空白文字の横幅の縮小を解除し、半角文字や全角文字のドット数（横幅）と同じにします。空白文字の直前に「Un」を入力します。「Un」直後の1文字のみ、縮小が解除されます。

(例)「ABCDEF (41、42、43、44、45、46)」の「DEF」を半角文字から全角文字に変更したい場合

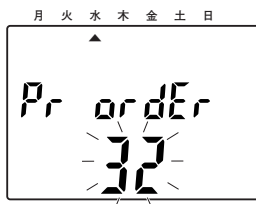
以下の順序で文字コードを入力します。

41、42、43、in、J、44、45、46、in、Jn

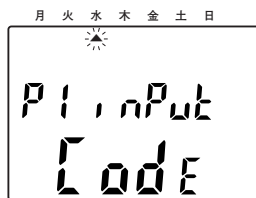
ユーザーフォーマットの行揃えを設定する

ユーザーフォーマットの行揃えを右揃え、中央揃え、左揃えのいずれかから選択します。

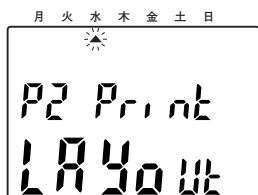
- 1 印字種類のコードで「32」を選択し、[E] ボタンを押します。
(☞ 26ページ～27ページ)



- 文字コードを入力する画面 (P1 inPut CodE画面) が表示されます。



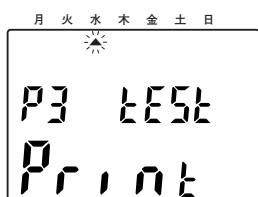
- 2** [+] ボタンを押します。
→P2 Print Layout画面が表示されます。



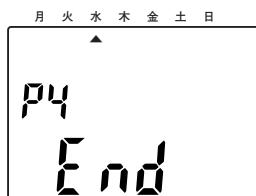
- 3** [E] ボタンを押します。
→Layout画面が表示され、現在設定されている行揃えが点滅表示されます。



- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、行揃えを以下から選択します。選択したら、[E] ボタンを押します。
right : 右揃え
CEntEr : 中央揃え
LEFt : 左揃え
→設定が完了し、P3 tEst Print画面が表示されます。



- 5** [+] ボタンを押します。
→P4 End画面が表示されます。



- 6** [E] ボタンを押します。
→SET UP画面のトップ画面 (SET UP Prog画面) に戻ります。

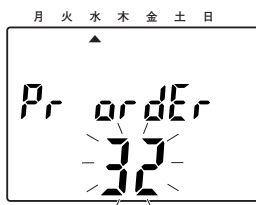
設定のしかた

ユーザーフォーマットを設定する (つづき)

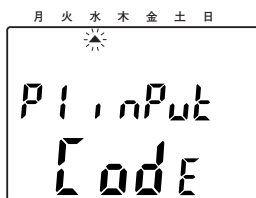
ユーザーフォーマットのテスト印字を行う

入力したユーザーフォーマットのテスト印字を行います。

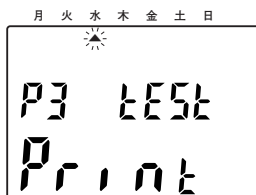
- 1** 印字種類のコードで「32」を選択し、[E] ボタンを押します。
(☞26ページ～27ページ)



→文字コードを入力する画面
(P1 inPut CodE画面) が表示されます。



- 2** [+] ボタンを2回押します。
→P3 tEst Print画面が表示されます。

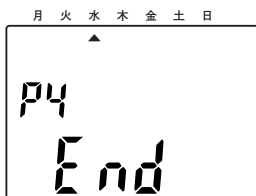


- 3** [E] ボタンを押します。
→「PAPER button」が点滅表示されます。



- 4** 用紙を挿入し、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押すと、テスト印字されます。
ボタンを押すと、最初に1行目のユーザーフォーマットが印字されます。1行目のテスト印字後、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押すと、2行目、3行目のテスト印字が行えます。

- 5** テスト印字が終了したら、[E] ボタンを押します。
→P4 End画面が表示されます。



- 6** 再度 [E] ボタンを押します。
→SET UP画面のトップ画面
(SEt UP Prog画面) に戻り
ます。

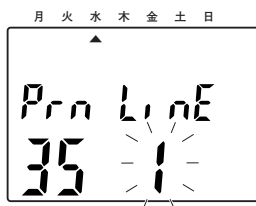
重要

- テスト印字中は印字エリアに触れない
てください。ケガをする恐れがありま
す。

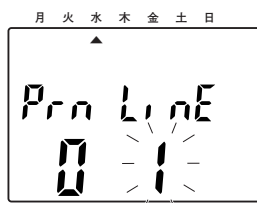
ユーザーフォーマットを削除する

入力したすべての行のユーザーフォーマットを削除します。

- 1** 入力する行の選択と入力された
ユーザーフォーマットの長さ
を表示する画面 (Prn LinE画面)
を表示します (☞ 30ページ)。

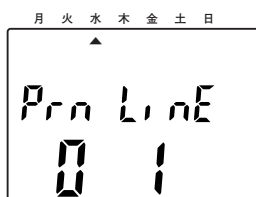


- 再度「1」(行番号) の点滅が
開始されたら、すべての行の
ユーザーフォーマットの内容
が削除されています。



- 2** [+1時間] ボタンを3秒以上押
し続けます。

- 「1」(行番号) の点滅が止ま
り、画面左の数字(ユーザー
フォーマットの長さ)が「0」
に戻ります。



メモ

- 手順2で [+1時間] ボタンを押す前に、
[+] ボタンまたは [-] ボタンを押し
て、削除する行を選択することもでき
ます。「2」を選択すると、2行目と3
行目のユーザーフォーマットが削除さ
れます。「3」を選択すると、3行目だ
けが削除されます。

印字方向を設定する

挿入した用紙に対して、印字する文字の向きを左方向または右方向のどちらかに設定します。LEFt（用紙左側）、right（用紙右側）の用紙の挿入方法は以下になります。

LEFt（用紙左側）：用紙の左端を挿入してください。紙の左端から中央へ向かって印字されます。

right（用紙右側）：用紙の右端を挿入してください。紙の右端から中央へ向かって文字が逆さまに印字されます。

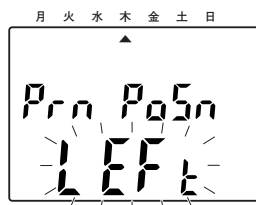
- 1** SET UP画面のトップ画面（SEt UP Prog画面）を表示します（☞17ページ）。



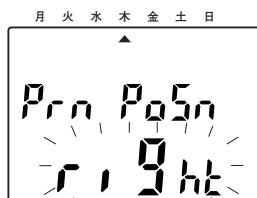
- 2** [+] ボタンを3回押して、「▲」を「木」に移動させ、「E」ボタンを押します。



→印字位置を選択する画面（Prn PoSn画面）になり、現在設定されている印字位置が点滅表示します。



- 3** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、「right」（用紙右側）または「LEFt」（用紙左側）のどちらかを選択します。



- 4** 選択したら、「E」ボタンを押します。

→設定が完了し、SET UP画面のトップ画面（SEt UP Prog画面）に戻ります。

印字種類の詳細設定を行う

印字種類 (☞25ページ) に関する以下の設定を行います。

- 「年」の桁数 (☞39ページ)
- 「月」と「日」の間のハイフン設定 (☞42ページ)
- 「時」と「分」の形式 (☞43、44ページ)
- 言語の種類 (☞46ページ)
- 印字する定型コメントの選択 (☞47ページ)
- 「0」の形式 (☞49ページ)
- 数字の前に「0」を付けるかどうかの設定 (☞50ページ)

「年」の桁数を設定する

「年」の桁数を2桁/4桁/和暦のいずれかから設定します。

- 1** SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



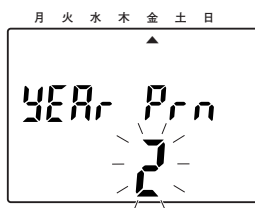
- 「年」の桁数を設定する画面 (P1 Print yEAR画面) が表示されます。



- 2** [＋] ボタンを4回押して、[▲] を「金」に移動させ、[E] ボタンを押します。



- 3** [E] ボタンを押します。
→ yEAR Prn画面が表示されます。

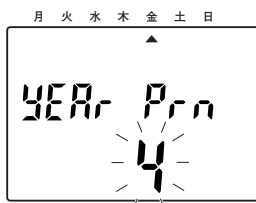


<次ページへ続く>

設定のしかた

印字種類の詳細設定を行う (つづき)

- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、2 (2桁) / 4 (4桁) / 27 J 18 (和暦: 「平18」と印字) のいずれかを選択します。

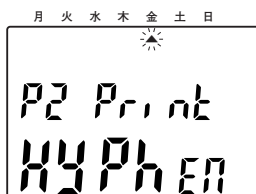


メモ

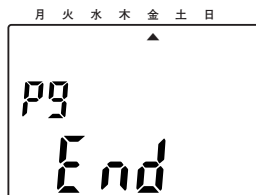
- 和暦「27 J 18」について
数字の「27」は「平」を意味し、「J」は和暦を、「18」は年数をあらわしています。
- 和暦を設定するには、言語設定を「日本語」にしておく必要があります。
(P.46ページ)

- 5** 選択したら、画面に「HyPhEn」が表示されるまで、[E] ボタンを押します。

→設定が完了し、P2 Print HyPhEn画面が表示されます。



- 6** 画面に「P9 End」が表示されるまで、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押します。表示されたら [E] ボタンを押します。



→SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

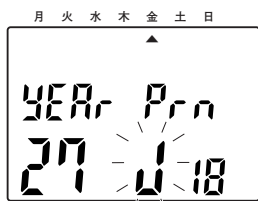
「平成」から年号が変わったときの和暦の設定のしかた

本機では、和暦としてアルファベット「A」～「Z」と「平」を設定できます。和暦は0～27までの数字を入力して設定します。各数字に割り振られている和暦は以下のようになります。

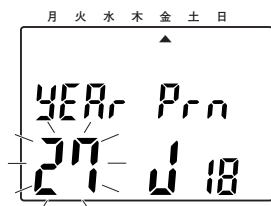
入力値（数字2桁）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	...	26	27
和暦	なし	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	...	Z	平

和暦は以下の手順で設定します。（例：和暦を「G01」としたい場合）

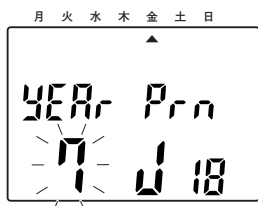
- 1** 前ページの手順4で「27 J 18」（和暦：平18）を選択します。



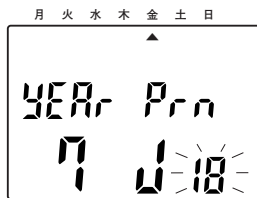
- 2** [E] ボタンを押します。
→ 「27」（和暦の入力値）が点滅し、変更できる状態になります。



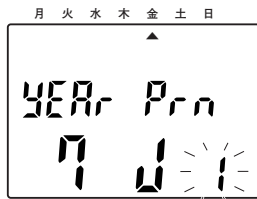
- 3** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、「7」に設定します。



- 4** [E] ボタンを押します。
→和暦が確定し、「18」（年数）が点滅し、変更できる状態になります。



- 5** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、「1」に設定します。



- 6** 設定したら [E] ボタンを押します。
→設定が完了し、P2 Print HyPhEn画面が表示されます。



印字種類の詳細設定を行う (つづき)

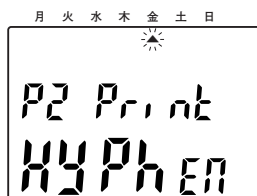
「月」と「日」の間にハイフンを入れるかどうかを設定する

「月」と「日」の間に「- (ハイフン)」を入れて印字するかどうかを設定します。

- 1** 「年」の桁数を設定する画面 (P1 Print yEAR画面) を表示します (P.39ページ)。



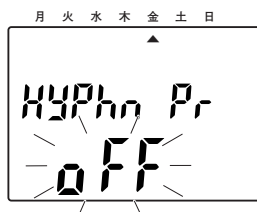
- 2** [+] ボタンを押します。
→ハイフンの設定画面 (P2 Print HyPhEn画面) が表示されます。



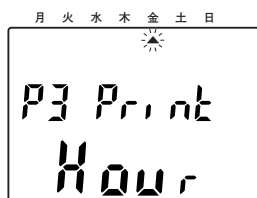
- 3** [E] ボタンを押します
→HyPhn Pr画面が表示されます。



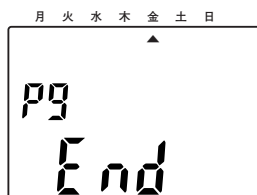
- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、「on」または「off」のどちらかを選択します。



- 5** 選択したら、[E] ボタンを押します。
→設定が完了し、P3 Print Hour画面が表示されます。



- 6** 画面に「P9 End」が表示されるまで、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押します。表示されたら [E] ボタンを押します。



→SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

「時」の形式を設定する

「時」の印字を12時間印字（12H）または24時間印字（24H）のどちらで印字するかを設定します。12時間印字の場合はAM、PMが表示されます。

- 1** 「年」の桁数を設定する画面（P1 Print yEAR画面）を表示します（☞39ページ）。



- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、「12H」または「24H」のどちらかを選択します。



- 2** [+] ボタンを2回押します。
→ 「時」の形式の設定画面（P3 Print Hour画面）が表示されます。



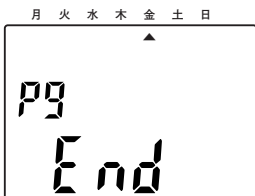
- 5** 選択したら、[E] ボタンを押します。
→設定が完了し、P4 Print minUt画面が表示されます。



- 3** [E] ボタンを押します。
→Hour Prn画面が表示されます。



- 6** 画面に「P9 End」が表示されるまで、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押します。表示されたら [E] ボタンを押します。



- SET UP画面のトップ画面（Set UP Prog画面）に戻ります。

設定のしかた

印字種類の詳細設定を行う（つづき）

「分」の形式を設定する

「分」の形式を以下のいずれかに設定します。

- 60 : 60進法（分位を60とし60で分割）で印字します。通常の時計の分表示です。
- 100A : 100進法Aで印字します。60分（3600秒）が100に分割され、「分」は00から99の範囲で印字されます。36秒ごとに分印字が1つずつ増加し、「秒」は00から35の範囲で印字されます。
 (例) 10時59分59秒は「10.99 35s」と印字されます。
 $59分59秒(3599秒) = 3599 \div 36 = 99余り35$
- 100B : 100進法B（分位を100として20で分割。3分で5ずつ繰り上がって印字）で印字します。
 (例) 10時10分は「10.15」と印字されます。
- 10進法 : 10進法（分位を60とし10で分割。6分で1ずつ繰り上がって印字）で印字します。
 (例) 10時10分は「10.1」と印字されます。

形式 \ 分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	25	26	27	28	29	30	53	54	55	56	57	58	59
60進法	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	25	26	27	28	29	30	53	54	55	56	57	58	59
10進法	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4	4	4	4	4	5	8	9	9	9	9	9	9
100B(5/100)	0	0	0	05	05	05	10	10	10	15	40	40	45	45	45	50	85	90	90	90	95	95	95

60進法	100A進法
:00分00秒	:00分00秒
...	...
:00分35秒	:00分35秒
:00分36秒	:01分00秒
:33分00秒	:55分00秒
:33分01秒	:55分01秒
...	...
:33分35秒	:55分35秒
:33分36秒	:56分00秒
:59分24秒	:99分00秒
...	...
:59分57秒	:99分33秒
:59分58秒	:99分34秒
:59分59秒	:99分35秒

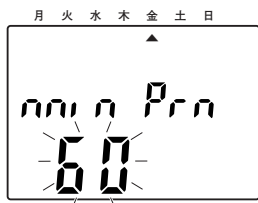
- 1** 「年」の桁数を設定する画面 (P1 Print yEAR画面) を表示します (☞ 39ページ)。



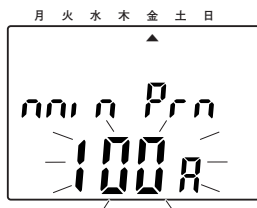
- 2** [+] ボタンを3回押します。
→ 「分」の形式の設定画面 (P4 Print minUt画面) が表示されます。



- 3** [E] ボタンを押します。
→ min Prn画面が表示されます。

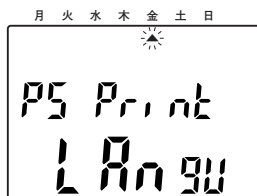


- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、60/100A/100B/10のいずれかを選択します。

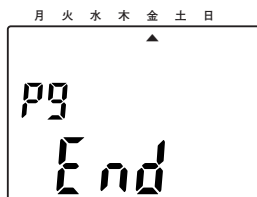


- 5** 選択したら、[E] ボタンを押します。

→設定が完了し、P5 Print LAngU画面が表示されます。



- 6** 画面に「P9 End」が表示されるまで、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押します。表示されたら [E] ボタンを押します。



→SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

設定のしかた

印字種類の詳細設定を行う (つづき)

言語を設定する

印字される曜日や月、定型コメントなどの言語を設定します。各言語の印字される内容については『各言語の「月」「曜日」の印字一覧』(☞81ページ)、『各言語の登録済み定型コメント一覧』(☞82ページ)を確認してください。

設定できる言語は以下のとおりです。

- JAPAn : 日本語
- EngLih : 英語
- SPanih : スペイン語
- FrEnCh : フランス語
- gErAn : ドイツ語
- itALia : イタリア語
- PortUg : ポルトガル語
- romAn : ローマ数字
- 123456 : 数字

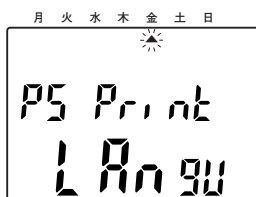
- 1** 「年」の桁数を設定する画面 (P1 Print yEAR画面) を表示します (☞39ページ)。



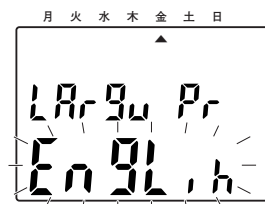
- 3** [E] ボタンを押します。
→ LAnGu Pr画面が表示されます。



- 2** [+] ボタンを4回押します。
→ 言語の設定画面 (P5 Print LangU画面) が表示されます。

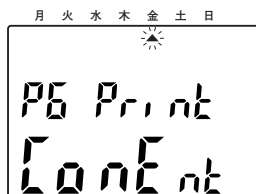


- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、いずれかの言語を選択します。

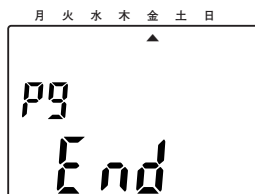


5 選択したら、[E] ボタンを押します。

→設定が完了し、P6 Print ConEnt画面が表示されます。



6 画面に「P9 End」が表示されるまで、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押します。表示されたら [E] ボタンを押します。



→SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

印字する定型コメントを設定する

『印字種類を設定する』(☞25ページ) で印字コード「14」～「20」に設定した場合に印字される定型コメントを設定します。定型コメントは、あらかじめ以下の13種類が登録されています。

(以下の定型コメントは言語設定が日本語の場合です)

番号	印字される定型コメント	意味
0	RCVD	受領
1	SENT	送付/送信
2	FAXED	ファックス送信済
3	VOID	無効
4	PAID	支払済
5	CFM'D	確認済
6	APR'D	承認済
7	CMPL'D	完了
8	ORIGN	原本
9	FILE	ファイル
10	IN	入
11	OUT	出
12	USED	使用済

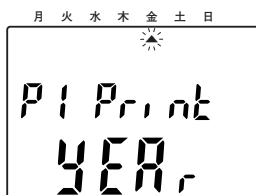
☞メモ

- 設定している言語によって、印字される定型コメントの内容は異なります。詳しくは、『各言語の登録済みコメント一覧』(☞82ページ)を確認してください。

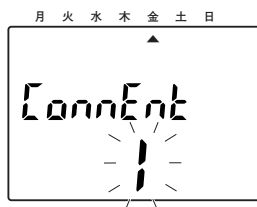
設定のしかた

印字種類の詳細設定を行う (つづき)

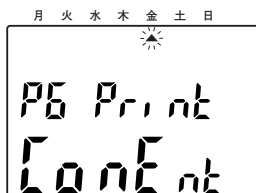
- 1** 「年」の桁数を設定する画面 (P1 Print yEAR画面) を表示します (P39ページ)。



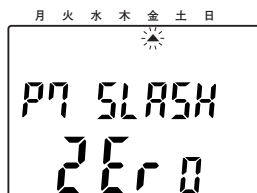
- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、設定したい定型コメントの番号を選択します。



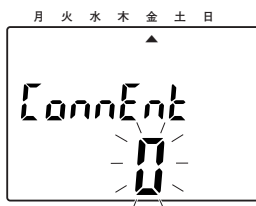
- 2** [+] ボタンを5回押します。
→印字される定型コメントの設定画面 (P6 Print ConEnt画面) が表示されます。



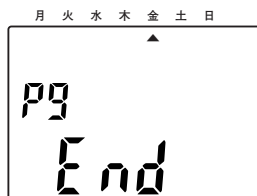
- 5** 選択したら、[E] ボタンを押します。
→設定が完了し、P7 SLASH ZErO画面が表示されます。



- 3** [E] ボタンを押します。
→ComEnt画面が表示されます。



- 6** 画面に「P9 End」が表示されるまで、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押します。表示されたら [E] ボタンを押します。



- SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

「0」の形式を設定する

数字の「0」に「/（スラッシュ）」を付けて印字するかどうかを設定します。

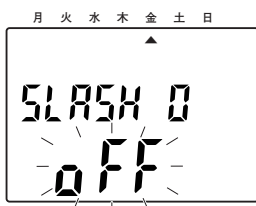
- 1** 「年」の桁数を設定する画面（P1 Print yEAR画面）を表示します（☞39ページ）。



- 2** [+] ボタンを6回押します。
→「0」の形式の設定画面（P7 SLASH ZER0画面）が表示されます。



- 3** [E] ボタンを押します。
→SLASH 0画面が表示されます。



- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、「on」または「off」のどちらかを選択します。

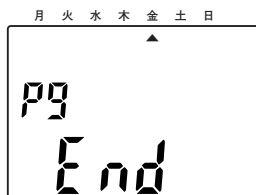


- 5** 選択したら、[E] ボタンを押します。

→設定が完了し、P8 LEAd ZER0画面が表示されます。



- 6** 画面に「P9 End」が表示されるまで、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押します。表示されたら [E] ボタンを押します。



→SET UP画面のトップ画面（Set UP Prog画面）に戻ります。

印字種類の詳細設定を行う (つづき)

数字の前に「0」を印字するかどうかを設定する

数字の前に「0」を印字するかどうかを設定します。「on」に設定すると、「印字ナンバー (☞55ページ)」や「月」「日」「時」「ユリウス日 (☞28ページ)」を印字する際に適用され、数字の前に「0」が印字されます。

また、「off」に設定した場合は、数字を文字幅内のどこに印字するかを設定します。

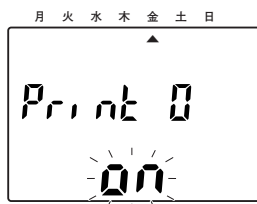
- 1** 「年」の桁数を設定する画面 (P1 Print yEAR画面) を表示します (☞39ページ)。



- 2** [+] ボタンを7回押します。
→「0」を印字するかどうかの設定画面 (P8 LEAd ZErO画面) が表示されます。

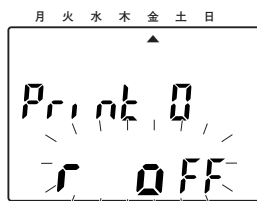


- 3** [E] ボタンを押します。
→Print 0画面が表示されます。



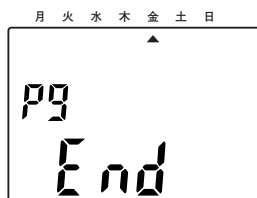
- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、以下のいずれかを選択します。

- on : 「0」を印字します。
- r off : 「0」は印字せず、数字を右詰めで印字します。
- C off : 「0」は印字せず、数字を中央に印字します。
- L off : 「0」は印字せず、数字を左詰めで印字します。



- 5** 選択したら、[E] ボタンを押します。

→設定が完了し、P9 End画面が表示されます。



- 6** [E] ボタンを押します。
→SET UP画面のトップ画面
(SEt UP Prog画面) に戻り
ます。

印字する幅を設定する

印字する幅をミリメートル単位で設定します。設定できる幅は2 mm～35 mmです。
印字する幅を設定すると、設定された幅で印字されるよう文字の種類も自動的に変更されます。

設定した印字種類 (☞25ページ) を確認し、印字する幅を設定してください。

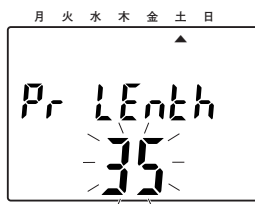
👉重要

- 印字種類をコード「32」(ユーザーフォーマットの印字) に設定している場合 (☞26ページ)、設定している印字の幅は無視されます(ユーザーフォーマットの印字の幅は設定できません)。
- 設定した幅で印字できない場合(幅が足りない場合)、上ケースをかぶせたときに画面に「Error 05」が表示されます。その場合は、幅を設定し直してください。

- 1** SET UP画面のトップ画面
(SEt UP Prog画面) を表示し
ます (☞17ページ)。



- 印字の幅を設定する画面 (Pr
LEnth画面) になり、現在設
定されている印字の幅が点滅
表示します。



- 2** [+] ボタンを5回押して、「▲」
を「土」に移動させ、「E] ボタ
ンを押します。



<次ページへ続く>

設定のしかた

印字する幅を設定する (つづき)

- 3** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、印字する幅を設定し、[E] ボタンを押します。



- 設定が完了し、SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

印字のタイミングを設定する

本機は用紙を挿入するだけで自動的に印字できる用紙検出センサーを備えています。ここでは、その用紙検出センサーを使い、用紙を挿入すると自動的に印字するようにするか、印字ボタンを押したときに印字するか、印字のタイミングを設定します。また、本機は2つの用紙検出センサーを備えており、どちらのセンサーを使用するかも設定します。

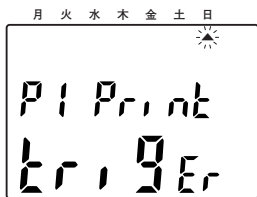
- 1** SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



- 2** [+] ボタンを6回押して、「▲」を「日」に移動させ、[E] ボタンを押します。

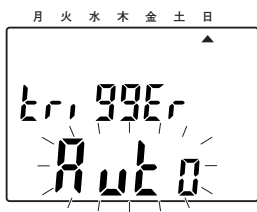


→印字のタイミングを設定する画面（P1 Print trigEr画面）が表示されます。



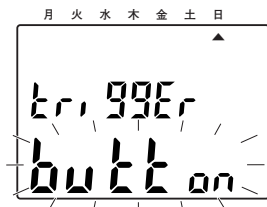
3 [E] ボタンを押します。

→triggEr画面が表示され、現在設定されている内容が点滅表示します。



4 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、以下から印字するタイミングを選択します。

- Auto：用紙を挿入すると自動的に印字されます。
- button：印字ボタンを押したときのみ印字されます。
- Au btn：印字ボタンを押したときと、用紙を挿入したときのどちらも印字されます。



5 選択したら、[E] ボタンを押します。

→使用するセンサーを選択する画面（P2 PAPER dEtECt画面）が表示されます。



6 [E] ボタンを押します。

→dEtECt画面が表示され、現在設定されている内容が点滅表示します。



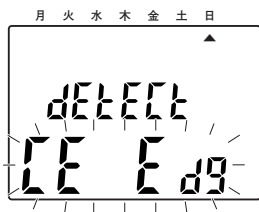
<次ページへ続く>

設定のしかた

印字のタイミングを設定する（つづき）

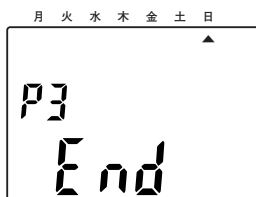
7 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、以下から使用するセンサーを選択します。

- CEntEr：中央のセンサーのみ使用します。
- CorE：中央または右端のセンサーのどちらかが反応したら印字します。
- CE Edg：中央のセンサーと右端のセンサーの両方が反応したら印字します。



8 選択したら、[E] ボタンを押します。

→設定が完了し、P3 End画面が表示されます。



9 [E] ボタンを押します。
→SET UP画面のトップ画面（SEt UP Prog画面）に戻ります。

ナンバリングに関する設定を行う

本機は印字ナンバーを順番に印字したり、同一の印字ナンバーを繰り返し印字したりすることができます。

印字ナンバーは以下の場合に印字されます。

- 『印字種類を設定する』で印字コード「21」～「31」に設定している場合 (☞25ページ)
- 『印字種類を設定する』で印字コード「32」(ユーザーフォーマットの印字)に設定し、ユーザーフォーマット内に印字ナンバーを印字する文字コード「19」を入力している場合 (☞26、28ページ)

ここでは、印字ナンバーの桁数やオートリセットなど、ナンバリングに関する以下の設定を行います。

- 印字ナンバーの設定 (☞55ページ)
- 印字ナンバーの桁数 (☞58ページ)
- 印字ナンバーリセット後の初期番号の設定 (☞59ページ)
- 印字ナンバーのオートリセットのON/OFF (☞60ページ)
- 同一印字ナンバーのリピート回数 (☞62ページ)

印字ナンバーを設定する

次に印字したときに印字するナンバーを設定します。

- 1 SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



<次ページへ続く>

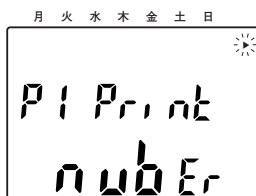
設定のしかた

ナンバリングに関する設定を行う (つづき)

- 2** [+] ボタンを7回押して、「▲」を右上の隅に移動させ、[E] ボタンを押します。



→印字ナンバーの設定画面 (P1 Print nubEr画面) が表示されます。



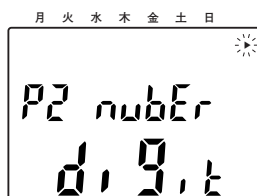
- 3** [E] ボタンを押します。
→次に印字したときに印字される印字ナンバーが点滅表示します。



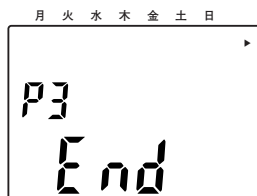
- 4** 一番左の桁から順に、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押して1桁ずつ設定し、設定したら [E] ボタンを押します。すべての桁を設定したら、[E] ボタンを押します。



→印字ナンバーが設定され、P2 nubEr digit画面が表示されます。



- 5** [+] ボタンを押して「P3 End」を表示し、[E] ボタンを押します。

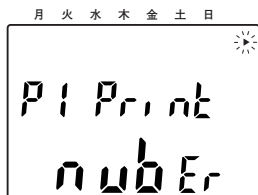


→SET UP画面のトップ画面 (SET UP Prog画面) に戻ります。

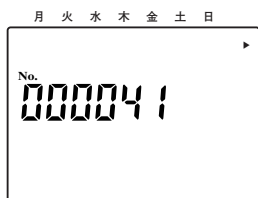
印字ナンバーを手動でリセットする

印字ナンバーを手動でリセットして、初期番号に戻します。リセット後の初期番号の設定については59ページをお読みください。

- 1** 印字ナンバーの設定画面（P1 Print nubEr画面）を表示します（☞56ページ）。



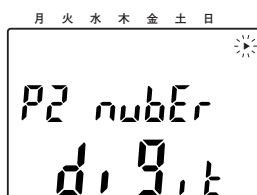
- 2** [E] ボタンを押します。
→次に印字したときに印字される印字ナンバーが点滅表示します。



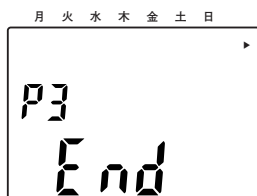
- 3** [+] ボタンと [-] ボタンを同時に3秒以上押し続けます。
→印字ナンバーがあらかじめ設定しておいた初期番号（☞59ページ）にリセットされ、初期番号が表示されます。



- 4** [E] ボタンを押します。
→P2 nubEr digit画面が表示されます。



- 5** [+] ボタンを押して「P3 End」を表示し、[E] ボタンを押します。



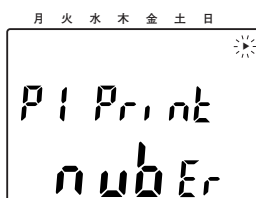
- SET UP画面のトップ画面（SEt UP Prog画面）に戻ります。

ナンバリングに関する設定を行う (つづき)

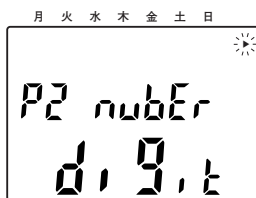
印字ナンバーの桁数を設定する

印字ナンバーの桁数を設定します。桁数は1桁～8桁まで設定できます。

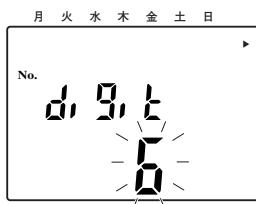
- 1** 印字ナンバーの設定画面 (P1 Print nubEr画面) を表示します (☞56ページ)。



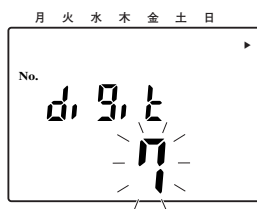
- 2** [+] ボタンを押します。
→P2 nubEr digit画面が表示されます。



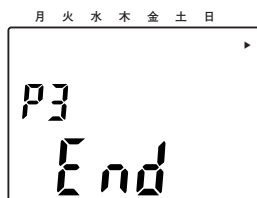
- 3** [E] ボタンを押します。
→digit画面が表示され、現在設定されている桁数が点滅表示します。



- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して桁数を設定し、[E] ボタンを押します。設定できる桁数は1桁～8桁までです。



- 桁数が設定され、P3 End画面が表示されます。



- 5** [E] ボタンを押します。
→SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

印字ナンバーのリセット後の初期番号を設定する

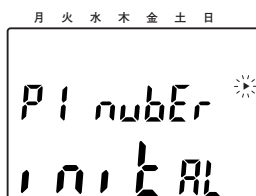
- 1** SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



- 2** [+] ボタンを8回押して、「▲」を右上の隅から2番目の位置に移動させ、「E」ボタンを押します。



- 印字ナンバーのリセット画面 (P1 nubEr initAL画面) が表示されます。



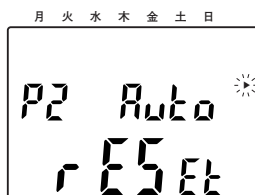
- 3** [E] ボタンを押します。
→リセット後の初期番号を設定する画面が表示され、現在設定されている初期番号が点滅表示します。



- 4** 一番左の桁から順に、[-] ボタンまたは [+] ボタンを押して1桁ずつ設定し、設定したら [E] ボタンを押します。すべての桁を設定したら、[E] ボタンを押します。

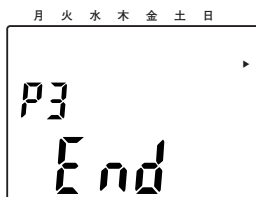


- 初期番号が設定され、P2 Auto rESet画面が表示されます。



ナンバリングに関する設定を行う (つづき)

- 5** [+] ボタンを押して「P3 End」を表示し、[E] ボタンを押します。



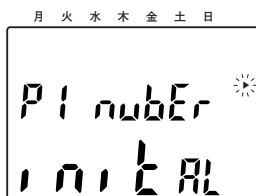
→SET UP画面のトップ画面
(SEt UP Prog画面) に戻ります。

印字ナンバーのオートリセットを行うかどうかを設定する (ナンバリングオートリセット)

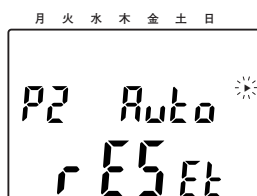
印字ナンバーを1日に1回、自動的にリセットするかどうかを設定します。オートリセットするよう設定した場合は、リセットする時刻を設定します。

手動でリセットしたい場合は『印字ナンバーを手動でリセットする』(☞57ページ)をお読みください。

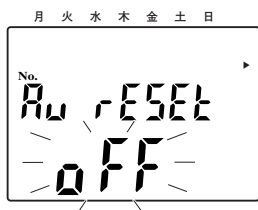
- 1** 印字ナンバーのリセット画面 (P1 nubEr initAL画面) を表示します (☞59ページ)。



- 2** [+] ボタンを押します。
→P2 Auto rESet画面が表示されます。



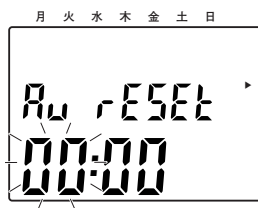
- 3** [E] ボタンを押します。
→Au rESEt画面が表示され、
現在設定されている内容が点
滅表示します。



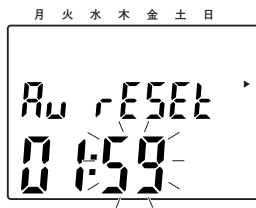
- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタン
を押して、オートリセットを行
うかどうかを「on」または
「off」のどちらかで設定します。



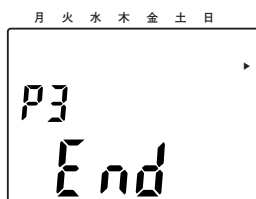
- 5** [E] ボタンを押します。
→「on」に設定した場合は、オ
ートリセットを行う時刻を設
定する画面が表示されます。



- 6** [-] ボタンまたは [+] ボタン
を押して、オートリセットを行
う時刻を設定します。「時」を設
定したら [E] ボタンを押して、
「分」に移動し、同様の操作で
「分」を設定します。設定したら
[E] ボタンを押します。



- P3 End画面が表示されます。



- 7** [E] ボタンを押します。
→SET UP画面のトップ画面
(SEt UP Prog画面) に戻り
ます。

ナンバリングに関する設定を行う (つづき)

同じ印字ナンバーをリピートして印字する回数を設定する (ナンバリングリピート)

同じ印字ナンバーを複数の用紙に繰り返し印字したい場合などに設定します。

設定できる回数は1回～9回までです。

繰り返し印字する印字ナンバーは、『印字ナンバーを設定する』(☞55ページ)で設定した番号になります。

メモ

- 設定した回数の印字が終了すると、次の印字では印字ナンバーが1つ進みます。
(例)「001」を9回印字するように設定していた場合、10回目では「002」が印字されます。

- 1 SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



- 2 [+] ボタンを9回押して、「▲」を右上の隅から3番目の位置に移動させ、「E」ボタンを押します。



- リピート回数の設定画面 (rPEAt画面) が表示されます。



- 3 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して印字したい回数を設定し、「E」ボタンを押します。設定できる桁数は1回～9回までです。



- 回数が設定され、SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

サマータイムを設定する

👉重要

- 日本国内でサマータイムが導入されたときに設定してください。

サマータイム機能について

サマータイムとは、夏の間の日の長い期間に、時計を1時間進めて昼の時間を長くする制度で、欧米を中心に実施されています。

サマータイムの開始時刻が午前2時の場合、サマータイム開始日の午前2時になると、自動的に1時間時刻が進んで午前3時になります(午前1時59分の次が午前3時になります)。また、サマータイム終了日の午前2時になると、自動的に時刻が1時間戻り午前1時になります(午前1時59分の次が午前1時になります)。

サマータイムの設定は、サマータイムの開始日、終了日と開始時刻を設定することで行います。

📖メモ

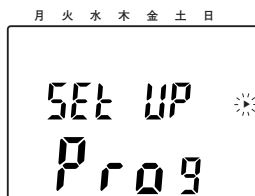
- サマータイムは一度設定すると、毎年自動的に更新されるため、その後設定する必要はありません。
- サマータイムを中止するときは、開始日と終了日を同じ日付に設定してください。

設定のしかた

- 1 SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



- 2 [+] ボタンを10回押して、「▲」を右上の隅から4番目の位置に移動させ、[E] ボタンを押します。

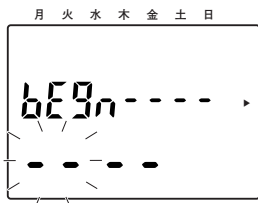


<次ページへ続く>

設定のしかた

サマータイムを設定する (つづき)

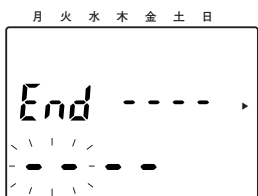
→サマータイムの開始日を設定する画面 (bEgn画面) が表示されます。月表示が点滅します。



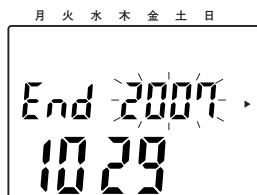
3 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、サマータイムの開始月を設定します。設定したら [E] ボタンを押して、同様に開始日、開始年を設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。



→サマータイムの終了日を設定する画面 (End画面) が表示されます。月表示が点滅します。



4 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、サマータイムの終了月を設定します。設定したら [E] ボタンを押して、同様に終了日、終了年を設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。



→サマータイム開始日の開始時刻を設定する画面 (Hour dSt画面) が表示されます。



5 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、サマータイムの開始時刻を設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。



→サマータイムが設定され、SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) に戻ります。

ディスプレイに表示する内容を設定する

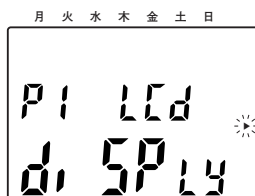
ディスプレイの現在時刻の上に表示する内容（現在の年月日／印字ナンバー／同一印字ナンバーのリピート回数／ユーザーフォーマットの行数／電波時計の電波状況）と現在時刻の表示形式（12時間表示／24時間表示）を設定します。



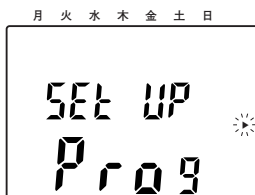
- 1** SET UP画面のトップ画面 (SEt UP Prog画面) を表示します (☞17ページ)。



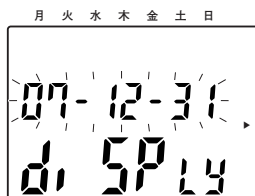
- ディスプレイ表示の設定画面 (P1 LCd diSPly画面) が表示されます。



- 2** [+] ボタンを11回押して、「▲」を右上の隅から5番目の位置に移動させ、「E」ボタンを押します。



- 3** [E] ボタンを押します。
→現在時刻の上に表示する内容を設定する画面が表示されます。現在の設定が点滅表示します。



設定のしかた

ディスプレイに表示する内容を設定する（つづき）

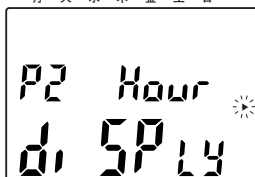
4 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、表示する内容を以下から設定します。設定したら、[E] ボタンを押します。

- 現在の年月日（年-月-日）
- 印字ナンバー（No.12345678）
- 印字ナンバーとリピート回数（No.123456 RPT9）
- ユーザーフォーマットの行数（LinE 3）
- 電波時計の電波状況（L-6 rAdo）：

電波状況に応じてレベルの数字が変動します。電波の状況は「L-0」～「L-6」で表示され、数字が大きいくほど電波状況が良いことを示しています。

→表示する内容が設定され、P2 Hour diSPLy画面が表示されます。

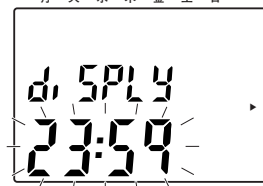
月 火 水 木 金 土 日



5 [E] ボタンを押します。

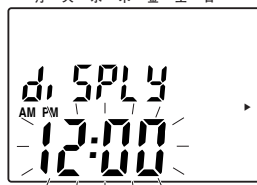
→現在時刻の表示形式の設定画面が表示されます。

月 火 水 木 金 土 日



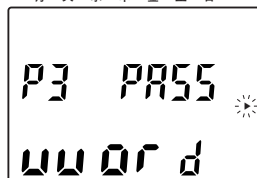
6 [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、表示形式を12時間表示（AMPM12:00）または24時間表示（23:59）のどちらかを選択します。選択したら、[E] ボタンを押します。

月 火 水 木 金 土 日



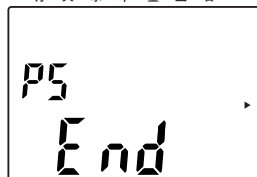
→P3 PASS word画面が表示されます。

月 火 水 木 金 土 日



7 [+] ボタンを2回押して「P5 End」を表示し、[E] ボタンを押します。

月 火 水 木 金 土 日



→SET UP画面のトップ画面（Set UP Prog画面）に戻ります。

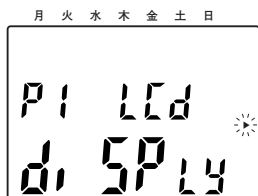
パスワードを設定する

パスワードを設定して、SET UP画面の表示（☞17ページ）や、簡易時刻設定（☞22ページ）を行えるユーザーを制限します。

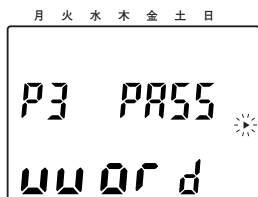
パスワードを設定すると、上記の操作をしようとしたとき、パスワードを要求する画面が表示され、パスワードを入力しないと操作できません。

パスワードは数字4桁で設定します。

- 1** ディスプレイ表示の設定画面（P1 LCd diSPly画面）を表示します（☞65ページ）。



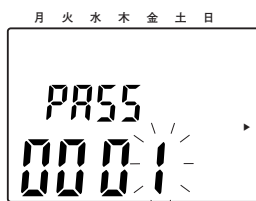
- 2** [+] ボタンを2回押します。
→P3 PASS word画面が表示されます。



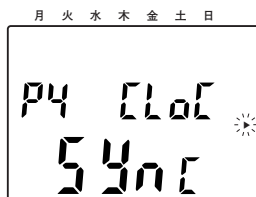
- 3** [E] ボタンを押します。
→パスワードの入力画面（PASS画面）が表示され、1桁目が点滅表示します。



- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、1桁目の数字を設定します。設定したら [E] ボタンを押します。残り3桁も同様の手順で設定します。



- 4桁設定すると、P4 CLoC Sync画面が表示されます。

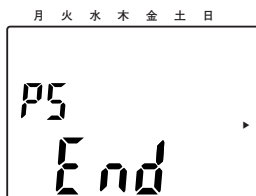


<次ページへ続く>

設定のしかた

パスワードを設定する（つづき）

- 5** [+] ボタンを押して「P5 End」を表示し、[E] ボタンを押します。




→SET UP画面のトップ画面
（SEt UP Prog画面）に戻ります。

メモ

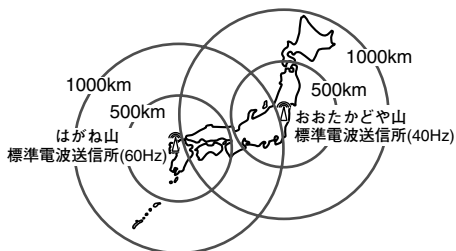
- 不正防止のため、設定したパスワードはお客様の責任において管理をお願いいたします。万が一、パスワードをお忘れになった場合、アマノ・タイムレコーダー・サポートセンターまでご連絡ください。
(正規の管理担当者様からのご依頼であるか、確認させていただくことがあります。)
-

時刻同期機能

機能概要

本機は、日本標準時を載せた電波を受信して、時刻を自動修正する時刻同期機能が装備されています。本機は内蔵アンテナで時刻信号の電波を受信します。電波の状況はディスプレイに表示されます（7ページ）。

時刻同期機能は40KHz（福島局）と60KHz（九州局）の2個所の標準電波に対応し、どちらかで受信しやすい電波を自動的に選択して受信しています。ただし、天候や設置場所、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



設置場所について

電波の受信状態を良くするため、できるだけ窓の近くに設置してください。また、アンテナの向きによっても受信状態が変わりますので、本機のリボンカセットが挿入されている側を電波の送信がある方向に向けてみるなどしてみてください。また、時刻同期機能を使用する場合、以下のような場所では時刻信号の電波を受信できません。ご注意ください。

- 大きな建物内、高いビルの間、地下、窓がないビル
- 頭上に送電線がある場所、テレビ局、鉄道架線がある場所
- テレビ、パーソナルコンピューター（PC）、冷蔵庫、FAXなどの家電やOA機器の近く
- スチール机など金属製家具の近く
- 建設工事現場、空港、交通量の多い道路など、強い干渉が発生する場所
- 車輦、鉄道車輦、飛行機の中



電波を自動で受信し、時計を合わせる

時刻同期機能は、本機に表示されている時刻がその場所の正規標準時刻から±15分以内の場合、自動的に時刻信号の電波の探索を開始します。

電波の探索タイミングは以下のとおりです。

- 本機の電源を入れたとき（15分間探索します）
- 本機の電源を入れている状態で、AM1:15～AM4:00まで

本機に表示されている時刻がその場所の正規標準時刻から±15分を超える場合、時計信号の電波探索は行いますが、時刻を自動修正することはできません。このような場合、手動で電波探索を行うか、時刻の変更をSET UP画面で行ってください。

時刻の変更のしかたは『時刻を合わせる』（P.21ページ）をお読みください。

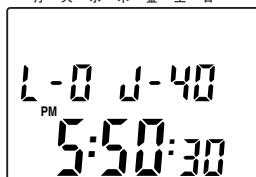
手動で電波探索を行い、時計を合わせるときは

1 上ケースを取りはずします
(P.9ページ)。

2 [-] ボタンと [E] ボタンを2秒以上押し続けます。

→L-0 J-40画面が表示されます。

月 火 水 木 金 土 日



- J-40：40KHzの電波を探索しています。
- J-60：60KHzの電波を探索しています。

3 [+] ボタンを押します。

→☀️が点滅し、電波の探索を開始します。

「L-0」は電波の状況を表します。「L-0」～「L-6」で表示され、数字が大きいほど電波状況が良いことを示しています。

☀️が点灯したら、時刻の同期が完了したことを示しています。

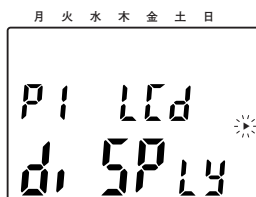
4 電波探索を停止して、通常の画面に戻すには、[E] ボタンを押します。

👉重要

- ディスプレイに表示される電波状況が「(⋯)」になっている場合、24時間以内に時刻信号の電波を受信し、時刻信号との同期が完了したことを示しています。
- 正しい時刻が表示されない場合、他の電波と干渉したり、本機が不適切な設置場所に設置されていたり、電波状況の不良が原因となり、電波を受信できなかった可能性があります。この場合は、窓ぎわなど電波を受信しやすいところに設置したり、本機のリボンカセットが挿入されている側を電波の送信がある方向に向けてみるなどしてみてください。
- 電波を受信できない場合でも、内部時計により動作は維持されます。

時刻同期機能のON/OFFを設定する

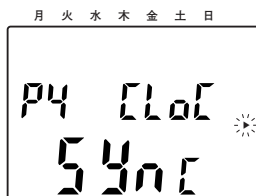
- 1** ディスプレイ表示の設定画面 (P1 LCd diSPly画面) を表示します (☞65ページ)。



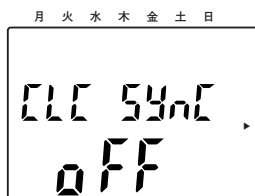
- 3** [E] ボタンを押します。
→時刻同期機能のON/OFFの設定画面 (CLC SynC画面) が表示されます。



- 2** [+] ボタンを3回押します。
→P4 CloC Sync画面が表示されます。



- 4** [-] ボタンまたは [+] ボタンを押して、時刻同期機能を使用するかどうかを「on」または「off」のどちらかで設定します。

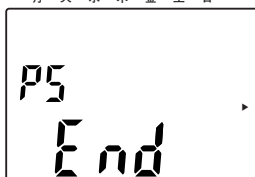


時刻同期機能

時刻同期機能のON/OFFを設定する（つづき）

- 5** [E] ボタンを押します。
→P5 End画面が表示されます。

月 火 水 木 金 土 日

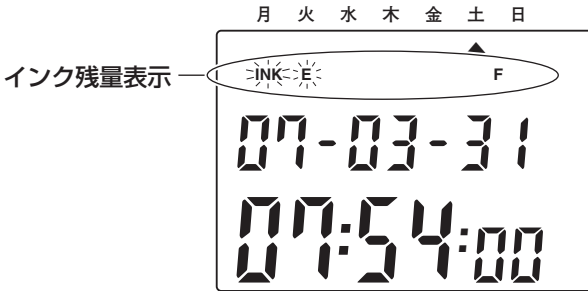


- 6** [E] ボタンを押します。
→SET UP画面のトップ画面
（SEt UP Prog画面）に戻り
ます。

メンテナンス

リボンカセットを交換する

インクの残量が0%になると、ディスプレイの「INK」と「E」が点滅し始めます。点滅し始めたら、新しいリボンカセットに交換してください。



メモ

- インク残量表示のバーが左端の1つになると、インク残量が25%になったことを示しています。インク残量が25%の場合、印字できる回数の目安は約3,000回です。(印字種類がお買い上げ時の設定「3」(年・月・日・時・分)の場合)

リボンカセットの種類

本機に対応しているリボンカセットの品番は以下になります。

- CE315150

交換のしかた

重要

- 必ずACアダプターをコンセントから抜いてから行ってください。
- ACアダプターをコンセントから抜いて上ケースを取り外したら、プリンターヘッドを動かさないでください。動かしてプリンターブロックが下がると、カセットリボンがうまく取り付けられません。
- リボンカセットを交換した後のテスト印字がうまくいかない場合、以下を確認してみてください。
 - ・インクリボンにたるみがないか
 - ・インクリボンが印字ヘッドの下に確実に取り付けられているか

メンテナンス

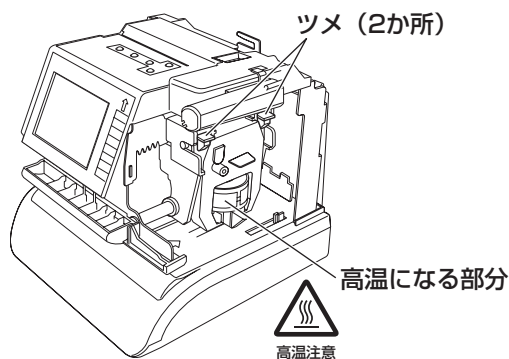


高温注意

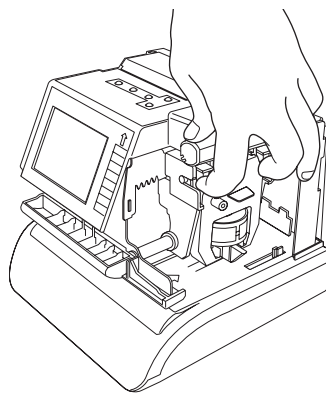
高温注意シールのところは触れない。

やけどの原因となることがあります。

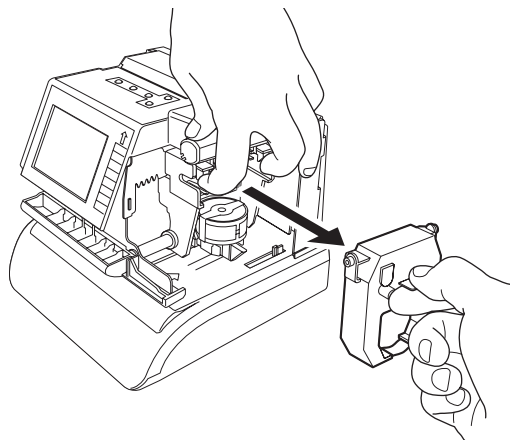
- 1** 上ケースを取り外します
(9ページ)。



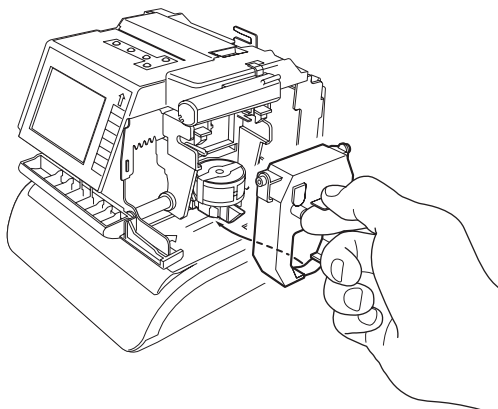
- 2** 本機側面のリボンカセットの上にあるツメ (2か所) を持ち上げます。



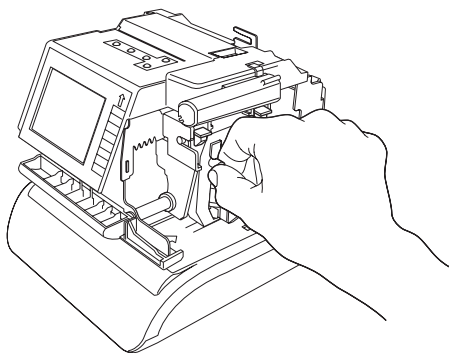
- 3** ツメ (2か所) を持ち上げたまま、リボンカセットを手前に引き出します。



- 4** 新しいリボンカセットのインクリボンを印字ヘッドの下に通して、リボンカセットを取り付けます。



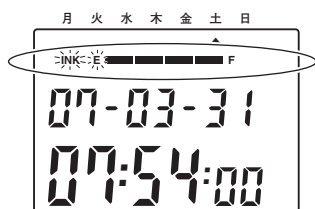
- 5** リボンカセットのつまみを時計回り（右回り）に回して、インクリボンのたるみを取ります。



- 6** ACアダプターをコンセントに差し込んで、電源を入れ、テスト印字を行って（☞11ページ）、リボンカセットが正しく取り付けられているか、確認します。

- 7** [-] ボタンと [+] ボタンを同時に2秒以上押し続け、インク残量をリセットします。

→インク残量がリセットされます。



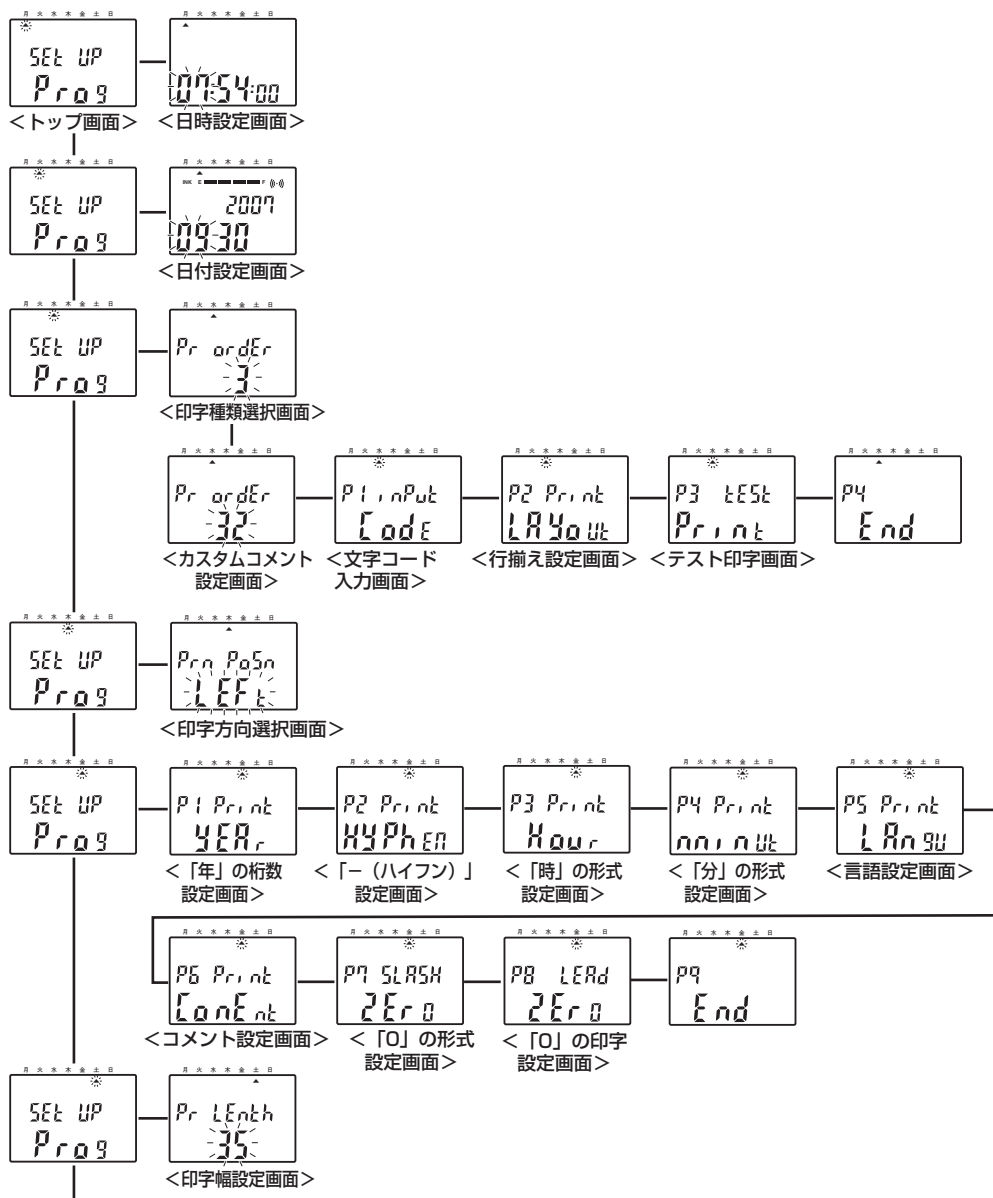
- 8** 上ケースを取り付けます（☞9ページ）。

メンテナンス

日常のお手入れについて

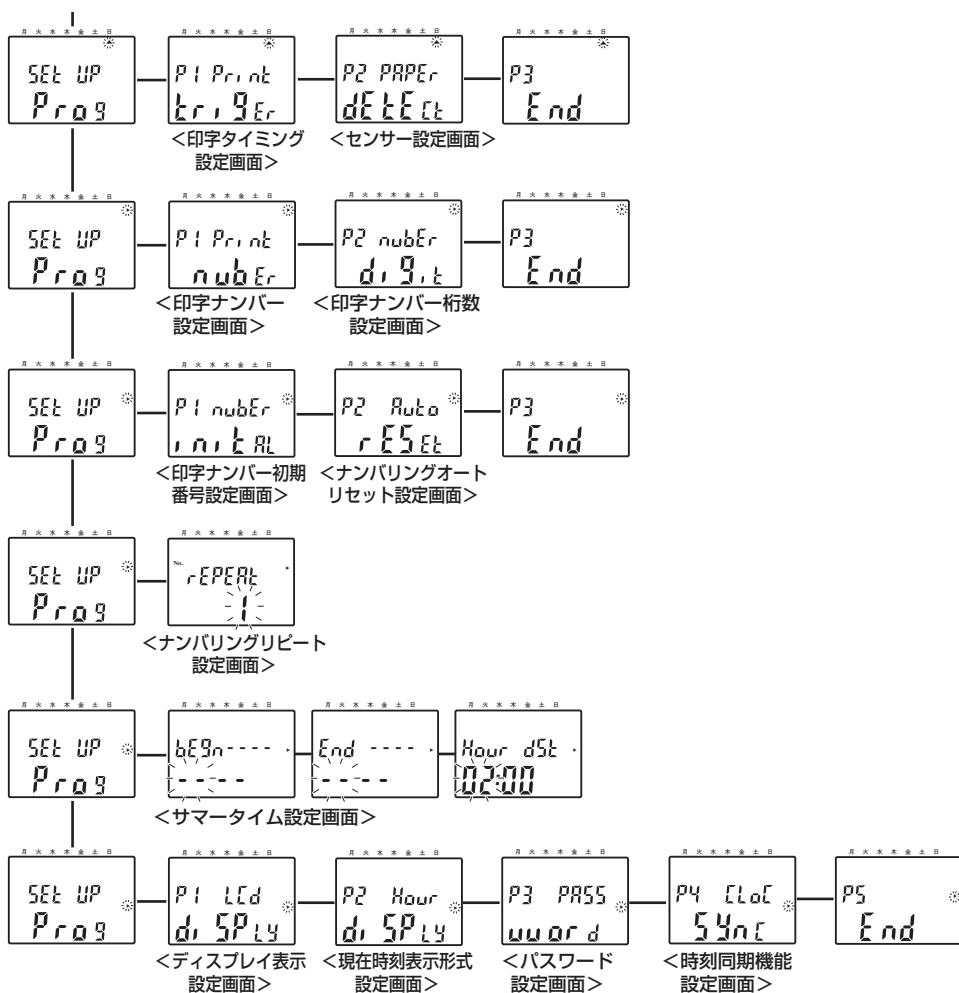
- 本機のお手入れを行うときは、必ずACアダプターをコンセントから抜き、電源を切ってから行ってください。
- 本機のお手入れは乾いた柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて、軽く拭いてください。シンナーやベンジンなどの化学溶剤やオイルを使用すると、変形や変色の原因になります。
- 殺虫剤などのスプレーをかけた場合も変形や変色の原因になります。
- 内部を清掃するときは、空気で汚れやほこりを吹き出してください。

設定項目の画面遷移



<次ページへ続く>

設定項目の画面遷移 (つづき)



設定項目のお買い上げ時の設定

設定項目	設定値	お買い上げ時の設定
印字種類	1~32	3 (年月日時分)
印字方向	right (用紙右側) / LEfT (用紙左側)	LEfT (用紙左側)
印字種類の詳細		
「年」の桁数設定	2 (2桁) / 4 (4桁) / 27J18 (和暦)	2 (2桁)
「月」と「日」の間ハイフン設定	on / oFF	on
「時」の形式設定	12H (12時間印字) / 24H (24時間印字)	24H (24時間印字)
「分」の形式設定	60 (60進法) / 100A (100A進法) / 100B (100B進法) / 10 (10進法)	60 (60進法)
言語設定	JAPAn (日本語) / EngLih (英語) / SPAnih (スペイン語) / FrEnCh (フランス語) / gErAn (ドイツ語) / itALiA (イタリア語) / PortUg (ポルトガル語) / romAn (ローマ数字) / 123456 (数字)	JAPAn (日本語)
定型コメント設定	0 (RCVD) / 1 (SENT) / 2 (FAXED) / 3 (VOID) / 4 (PAID) / 5 (CFM'D) / 6 (APR'D) / 7 (CMPL'D) / 8 (ORIGN) / 9 (FILE) / 10 (IN) / 11 (OUT) / 12 (USED)	0 (RCVD)
「O」の形式	on (スラッシュ有り) / oFF (スラッシュなし)	oFF (スラッシュなし)
数字の前に「O」を印字するかの設定	on (印字する) / r oFF (「O」なし、右詰め) / C oFF (「O」なし、中央) / L oFF (「O」なし、左詰め)	on (印字する)
印字の幅	2~35 (mm)	35 (mm)
印字のタイミング		
印字タイミング	Auto (用紙挿入で自動印字) / button (印字ボタン押下で印字) / Au btn (用紙挿入、印字ボタン押下のどちらでも印字)	Au btn (用紙挿入、印字ボタン押下のどちらでも印字)
用紙検出センサー設定	CE Edg (右端のセンサー使用) / CEntEr (中央のセンサー使用) / C or E (中央または右端のセンサー使用)	C or E (中央または右端のセンサー使用)

設定項目のお買い上げ時の設定（つづき）

設定項目	設定値	お買い上げ時の設定
印字ナンバーの設定		
次回印字する印字ナンバーの設定	0~999999999	000001
印字ナンバーの桁数	1~8	6
ナンバリングオートリセット		
印字ナンバーの初期番号	0~999999999	000001
オートリセット時刻	on（動作する 00:00~23:59）／off（動作しない）	off（動作しない）
ナンバリングリピート	1~9（回）	1（回）
サマータイム		
開始日の設定		--:--（動作しない）
終了日の設定		--:--（動作しない）
実行時刻の設定	00:00~23:00	02:00
ディスプレイの表示形式	06-12-31（現在の年月日）／ No.12345678（印字ナンバー）／ No.123456 RPT9（印字ナンバーとリピート回数）／ LinE3（ユーザーフォーマットの行数）／ L-6 rAdo（電波時計の電波状況）	06-12-31 （現在の年月日）
現在時刻の表示形式	AMPM12:00（12時間表示）／23:59（24時間表示）	23:59（24時間表示）
パスワードの設定	0000~9999	----（なし）
時刻同期機能の設定	on/off	on

各種一覽

各言語の「月」「曜日」の印字一覽

	日本語	英語	スペイン語	フランス語	ドイツ語	イタリア語	ポルトガル語	ローマ数字	数字
月曜日	月	MO	LU	LU	MO	LU	SG	I	1
火曜日	火	TU	MA	MA	DI	MA	TR	II	2
水曜日	水	WE	MI	ME	MI	ME	QU	III	3
木曜日	木	TH	JU	JE	DO	GI	QI	IV	4
金曜日	金	FR	VI	VE	FR	VE	SX	V	5
土曜日	土	SA	SA	SA	SA	SA	SB	VI	6
日曜日	日	SU	DO	DI	SO	DO	DO	VII	7
1月	1	JAN	ENE	JAN	JAN	GEN	JAN	I	1
2月	2	FEB	FEB	FEV	FEB	FEB	FEV	II	2
3月	3	MAR	MAR	MAR	MAR	MAR	MAR	III	3
4月	4	APR	ABR	AVR	APR	APR	ABR	IV	4
5月	5	MAY	MAY	MAI	MAI	MAG	MAI	V	5
6月	6	JUN	JUN	JUN	JUN	GIU	JUN	VI	6
7月	7	JUL	JUL	JUL	JUL	LUG	JUL	VII	7
8月	8	AUG	AGO	AOU	AUG	AGO	AGO	VIII	8
9月	9	SEP	SEP	SEP	SEP	SET	SET	IX	9
10月	10	OCT	OCT	OCT	OKT	OTT	OUT	X	10
11月	11	NOV	NOV	NOV	NOV	NOV	NOV	XI	11
12月	12	DEC	DIC	DEC	DEZ	DIC	DEZ	XII	12

各種一覧（つづき）

各言語の登録済み定型コメント一覧

	日本語	英語	スペイン語	フランス語	ドイツ語	イタリア語	ポルトガル語	ローマ数字	数字
受領	RCVD	RCVD	RCBDO	RECU	EING	RICEV	RCBDO	RCVD	RCVD
送付/送信	SENT	SENT	ENVDO	ENV	AUSG	SPED	ENVDO	SENT	SENT
ファックス送信済	FAXED	FAXED	FAX	FAXE	FAX	FAX	FAX	FAXED	FAXED
無効	VOID	VOID	ANLDO	ANNUL	LAGER	ANNUL	ANUL	VOID	VOID
支払済	PAID	PAID	PGADO	PAYE	BEZ	PAGA	PAGO	PAID	PAID
確認済	CFM'D	CFM'D	CONF	CONF	EMPF	CONF	CONF	CFM'D	CFM'D
承認済	APR'D	APR'D	APBDO	APPR	BEST	APPR	APRV	APR'D	APR'D
完了	CMPL'D	CMPL'D	TRMDO	TERM	ABGES	COMPL	TERM	CMPL'D	CMPL'D
原本	ORIGN	ORIGN	ORIGN	ORIG	ORIG	ORIG	ORIG	ORIGN	ORIGN
ファイル	FILE	FILE	ARCH	FICH	AKTE	FILE	ARQV	FILE	FILE
入	IN	IN	ENTRA	ENTRE	KOMMT	ENTRA	ENTRA	IN	IN
出	OUT	OUT	SALID	SORTI	GEHT	USCIT	SALID	OUT	OUT
使用済	USED	USED	UTIL	UTIL	GEBRA	UTIL	UTIL	USED	USED

メモ

- 「日本語」を選択しても英語で印字されます。

ユーザーフォーマット入力用文字コード一覧

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	En	(年)	SP	0	@	P	`	p	l	受	/		タ	ミ	/	
1	dL	(月)	!	1	A	Q	a	q	ll	領	。	ア	チ	ム	/	1ドット SP
2	in	(日)	"	2	B	R	b	r	lll	収	「	イ	ツ	メ	/	2ドット SP
3	/	(時)	#	3	C	S	c	s	v	検	」	ウ	テ	モ	/	3ドット SP
4	/	(分)	\$	4	D	T	d	t	x	付	,	エ	ト	ヤ	/	4ドット SP
5	/	(秒)	/	5	E	U	e	u	-	年	.	オ	ナ	ユ	/	5ドット SP
6	/	(曜日)	&	6	F	V	f	v	'	月	ヲ	カ	ニ	ヨ	/	6ドット SP
7	/	(週ナンバー)	'	7	G	W	g	w	"	日	ア	キ	ヌ	ラ	/	7ドット SP
8	/	(ユリウス日)	(8	H	X	h	x	€	平	ィ	ク	ネ	リ	/	8ドット SP
9	/	(印字ナンバー))	9	I	Y	i	y	¥	/	ウ	ケ	ノ	ル	/	9ドット SP
A	/	(リピート回数)	* : :	J	Z	j	z	/	/	/	エ	コ	ハ	レ	/	J
B	/	(定型コメント)	+ ; :	K	[k	{	/	/	/	オ	サ	ヒ	ロ	/	Jn
C	/	(AM/PM)	,	L	\	l		/	/	/	ヤ	シ	フ	ワ	/	L
D	/	/	-	M]	m	}	/	/	/	ユ	ス	ヘ	ン	/	LL
E	/	/	.	N	^	n	~	/	/	/	ヨ	セ	ホ	ッ	/	Ln
F	/	/	/	O	_	o	/	/	/	/	ッ	ソ	マ	°	/	Un

En : 終端

dL : 文字の削除 (☞33ページ)

in : 文字の挿入 (☞33ページ)

SP : スペース入力

J : 全角文字開始 (☞34ページ)

Jn : 全角文字終了 (☞34ページ)

L : 強調文字開始 (☞34ページ)

LL : 倍角文字開始 (☞34ページ)

Ln : 強調文字、倍角文字終了 (☞34ページ)

Un : 空白文字の解除 (☞34ページ)

メモ

- で囲まれている文字 (空白文字) は、半角文字や全角文字よりもドット数 (横幅) が少なく印字されます。

各種一覧（つづき）

文字の種類

文字の種類	文字のスタイル	ドット数	文字コード	
半角	通常文字	7	10～89、A1～A4 (空白文字、秒、AM/PMを除く)	
	強調文字	8		
	倍角文字	13		
全角	通常文字	9		
	強調文字	10		
	倍角文字	17		
カタカナ	通常文字	9		A6～DD
	強調文字	10		
	倍角文字	17		
空白文字	通常文字	5		
	強調文字	6		
	倍角文字	9		
S（秒）	半角	7	15	
AM/PM	固定	13	1C	
漢字	固定	10	90～98	

エラーコード一覧

エラーが発生すると、ディスプレイに以下のエラーコードが表示されます。
以下の対応を行ってもエラーが解除されない場合は、弊社の支店・営業所、またはアマノ・タイムレコーダーサポートセンターにご連絡ください。

エラー表示	原因	対応
Error 02	印字開始時にセンサーのエラー	本機からACアダプターを外し、紙などが詰まっていないか、リボンカセットが正しく取り付けられているか確認してください。 また、電源を一度切り、再度電源を入れ直してみてください。
Error 03	印字ドットセンサーエラー	
Error 04	印字終了時にセンサーエラー	
Error 05	印字幅の設定エラー (35mmを超えて設定した場合)	年の桁数、「時」の表示形式、言語の設定、数字の桁数などを変更して、印字の幅を調整してください。

故障とお考えになる前に

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
印字が欠ける	<ul style="list-style-type: none"> ●リボンカセットが正しく取り付けられていますか？ →きちんと取り付けられているか確認してください。 	73
印字がうすい (うすくなってきた)	<ul style="list-style-type: none"> ●リボンカセットのインク残量が無くなってきています。 →リボンカセットを交換してください。 	73
打刻できない	<ul style="list-style-type: none"> ●停電中ではありませんか？ →電力が復帰するまで待ってください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが抜けていませんか？ →電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 	10
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を入/切しても現象が変わらない →いったん、電源プラグを抜き、しばらくしてから差し込み直してください。 	10

症 状

プリンターは動いているのに印字しない

原 因 ・ 対 策

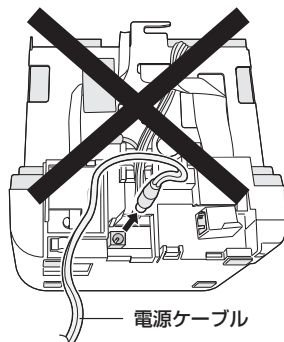
参照ページ

- 「印字のタイミングを設定する」(52ページ)を使用するセンサーの設定を「CEEdg」に設定している場合、用紙を斜めに挿入していると、印字しないで、プリンターが動くことがあります。
→用紙をまっすぐ入れ直してみてください。
※印字中は無理に用紙を引き抜かないでください。ドットプリンターが折れて、インクリボンが破れてしまいことがあります、これが故障につながります。

—

電源が入らない

- PIX-200の背面にあるACアダプターのピンジャックが抜けていませんか？
→ACアダプターのピンジャックは抜かないでください。



—

専用バッテリー（別売品）の取り付け／取り外しかた

警告



禁止

本機専用のバッテリーパック以外を使用しないでください。
間違ったタイプに交換すると、破裂の危険があります。

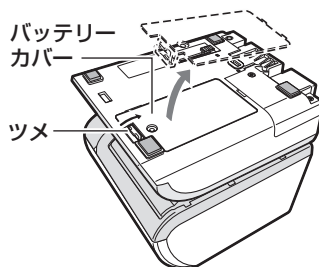
別売の専用バッテリーをお買い求めいただくことで、一時的に停電時に印字できるようになります。バッテリーの取り付け／取り外しは次の手順で行ってください。

重要

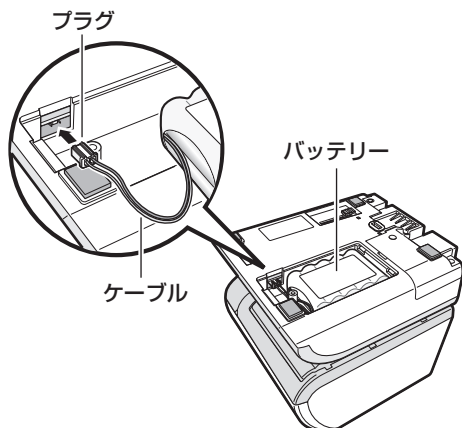
- 必ずACアダプターをコンセントから抜いてから行ってください。
- バッテリーを取り付ける前に、印字ボタンを無効するよう設定（『印字のタイミングを設定する』を「AutO」に設定（☞52ページ））してください。
本機を裏返す際に印字ボタンを押す可能性があり、バッテリーを取り付けた後、印字してしまうおそれがあります。
- バッテリーを取り付けたら、本機の電源を入れ、15時間充電してください。
フル充電すると、72時間あるいは400回の打刻を行うことができます。

1 本機底面のバッテリーカバーを開けます。

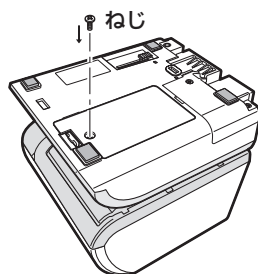
本機底面にあるバッテリーカバーのツメを矢印の方向に押しながら、バッテリーカバーを取り外します。



- 2** バッテリーを取り付けます。
バッテリーケーブルのプラグを
本機のコネクターに差し込み、
バッテリーを取り付けます。
このとき、プラグの凹みのある
方を上向きにして、コネクター
に差し込みます。



- 3** バッテリーカバーを取り付けま
す。
バッテリーカバーを元のとおり
に取り付けます。取り付けたら、
ねじ（バッテリー付属品）を締
めて、バッテリーカバーを固定
します。



消耗品・別売品のご紹介

リボンカセット

: CE315150

PIX-200専用バッテリー（ニッケル水素電池）

: 別売



このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。

Ni-MH

⚠ 危険



禁止

電池を火の中に投入したり、加熱しないこと。



分解禁止

電池を分解・改造、直接ハンダ付けしないこと。

発火、破裂、発熱、液漏れの原因となります。



禁止

電池は+（プラス）と-（マイナス）の向きを正しく入れること。

逆に接続すると、電流が逆に充電され電池内部で異常な反応が起きたり、放電時に思わぬ異常な電流が流れたりして、発火、破裂、発熱、液漏れの原因となります。



禁止

電池を指定機器以外に使用しないこと。

異常な電流が流れて、発火、破裂、発熱、液漏れの原因となります。



電池の液（強アルカリ性）が目に入った場合は、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗った後、ただちに医師の治療を受けること。

そのままにしておくと、失明などの原因となります。

警告



水ぬれ禁止

電池を水や海水につけたり濡らさないこと。

電池を発熱させたり、錆の原因となります。また、錆が発生するとガス排出弁の機能が損なわれることがあり、その状態で使用すると破裂の原因となります。



禁止

電池が液漏れしたり、変形・変色・破損したり、またそれ以外に今までと異なることに気がついたときは使用しないこと



禁止

電池の外装チューブを剥がしたり、キズをつけないこと。

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。



電池の液（強アルカリ性）が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに、きれいな水で充分洗い流すこと。

皮膚に障害を起す原因となります。

⚠ 注意



禁止

電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないこと。

発火、破裂、発熱、液漏れの原因となります。



電池のコネクターやリード線を持って電池を持ち運ばないこと。

電池の破損の原因となることがあります。



禁止

電池を交換する場合は、弊社が指定した以外のものや使用推奨期限の過ぎたものを入れないこと

液漏れ、破裂、発熱などによって、火災、けが、汚損の原因となることがあります。



使用済みの電池は、取扱説明書に従って処分すること。

製品に組み込まれたリチウム電池は、廃棄後の破損・変形により、発熱・発火する危険性が高く、出火事故の原因となります。

仕様

使用電源	AC100V±10% (50/60Hz)
定格電流 (電力)	0.4A (8W)
動作温度範囲	-10℃~45℃
動作湿度範囲	10%~90% (結露のないこと)
サイズ	159 (幅) × 163 (高さ) × 171 (奥行) mm
質量	2.2kg (ACアダプターを含まず)
動作環境	屋内使用専用。ほこりの少ない環境。直射日光を避けること。
時計	水晶発振方式 週差±3秒以内 (25℃±5℃)
印字方式	9ピンドットプリンター方式
印字方法	用紙検知による自動印字 印字ボタンによる手動印字

👉重要

- バッテリー (別売品) を使用している場合の動作温度は0℃~40℃です。
使用温度範囲外の環境下にて使用した場合、容量劣化が早くなったり、使用時間が短くなることがあります。

製品保証とアフターサービス

アマノではご購入いただきました対象製品について、保証登録をしていただくことで、サポートセンターへのお問い合わせや製品の保証期間内の無償保証や、メンテナンスサービスを提供しております。お手数ですが保証登録をお願いいたします。
詳しい内容は、以下URLの製品保証登録サイトをご覧ください。

ご登録方法

■インターネットでの登録

下記のURLにアクセスし、入力フォームから登録してください。

(URL) https://www.amano.co.jp/Tr/register/index_regist.html



お預かりしましたお客様の個人情報は、今後弊社が取り扱う製品やサービスのご紹介、これらに関する展示会・セミナー等各種イベントのご案内に利用させていただき、お客様の許可なく第三者に提供等いたしません。

製品保証、アフターサービスについてのお問い合わせ

タイムレコーダー・サポートセンターへのお問い合わせは、下記URLまたはQRコードの[お問い合わせ] ボタンよりお問い合わせいただけます。

【サポート&サービス】

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>



製品保証サービスについて

■ 保証期間について

保証期間の間に故障した場合には、保証書登録の上、お買い上げの販売店もしくは弊社メンテナンスセンター・支店・営業所にご購入日が確認できる書類（レシートなど）をご用意いただき、修理をご依頼ください。保証期間は、購入日より1年間です。

■ 保証期間内でも次のような場合は有償になります。

- (1) 保証書登録のない場合。あるいは、保証書登録の所定事項の未記入や字句を書き換えられたもの及びご購入日が確認できる書類（レシートなど）のないとき。
- (2) 誤った使いかたまたは、改造や不当な修理による故障及び損傷。
- (3) 火災・地震その他の天災地変による故障及び損傷。
- (4) 異常電圧、害虫（ゴキブリなど）による故障及び損傷。
- (5) 一度取り付けた後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
- (6) 出張しておこなう取扱説明、設定、時計調整、締日の変更や機械故障以外の調整あるいは、リボンカセットなど消耗品の交換、修理、点検、お引取りが発生した場合。
- (7) アマノ製品以外の消耗品（タイムカード・リボンカセットなど）の使用に起因して生じた本体の損傷、故障及び障害。
- (8) 製品に貼付しているラベルまたはプレートを毀損、または剥がすなど製品の商品名または製造番号を判別不能または判別困難としているとき。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。

※本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。

日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。



本社 / 〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地

<https://www.amano.co.jp/>

■タイムレコーダー サポート&サービス

取扱説明書、お問い合わせ、チャットボットのご利用はこちらからご確認ください。

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

